

新型コロナウイルスからの反転攻勢



昨年5月、新型コロナウイルス感染症の扱いが5類へと移行し、失われた三年間を取り戻すべく反転攻勢が始まりました。コロナ禍で経験した新しい生活スタイルも活かし、今まで以上に魅力ある防府にするため、誇れる山口県にするための令和6年スタートいたしました。しかし、本年元旦、能登地方で甚大な地震が発災し改めて災害に強い、安心・安全な暮らしが出来る郷土づくりの大切さを実感しております。

震災によりお亡くなりになられた方々へ衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、今なお不自由な生活を余儀なくされている方にお見舞い申し上げます。

昨年の4月の選挙におきまして2期目の道を拓いていただき、引き続き県民の誰もが山口県民でよかったと実感できるよう皆さまの声を提言、質問として県政に届けられるよう、議会の場において発言してまいります。

現在、常任委員会は農林水産委員会、特別委員会は少子化・人材育成確保対策特別委員会に席を頂いておりますことご報告させていただきます。

topic

山口県議会台湾友好調査訪問団 7月14日～17日

山口県は台湾を観光客の誘致や農林水産物の輸出拡大の重点地域に位置付け、様々な取り組みを展開しています。そのような背景をしっかりと支援していくため、令和3年5月に山口県議会は台南市議会と友好交流に関する覚書の締結をいたしました。山口県はコロナ禍の影響が無くなったこの機を逃さず台湾を訪問し、台南市との結びつきを進化させるべく、観光・物産等の分野における覚書を締結することとなりました。この機会に県議会も県執行部とともに台湾を訪問し、台南市議会との友好を一層深め、締結式の視察や意見交換を行い、新竹市との新たな交流に向けて表敬訪問を行いました。



新竹市役所を訪問

高虹安市長、陳啓源市議会議員をそれぞれ表敬訪問。令和4年2月に新竹市長から知事宛てに今後の民間交流を進めたいとの申し出があり、今回訪問で意見交換を行うことになりました。新竹市は「台湾のシリコンバレー」と呼ばれる産業都市です。



台南市との分野別覚書締結式

台南市役所を訪問し、山口県と台南市との観光・物産、経済等に関する交流・協力に関する覚書締結式に出席。2月23日からのチャーター便運航。県立高校などの修学旅行利用など、定期的な交流、山口県への誘客になることを期待しています。

topic

農林水産委員会県外視察(秋田県・山形県) 9月4日～6日

山口県の基盤産業である一次産業。山口県における農林水産業の今後の更なる発展につながる他地域(他県)の取り組みを農林水産委員会メンバーとして視察いたしました。山口県と基幹産業が類似している秋田県、山形県を視察させていただき、山口県での農林水産業の更なる発展につなげられるよう先様のお話や事例などを勉強させていただきました。



秋田プライウッド(株)

ベニヤ板のトップメーカー。今まで製品に出来なかった秋田杉の間伐材も有効利用。計画的な育苗・植林や間伐を実施し、森林保全、地球環境の保護に大きく貢献されています。



庄内スマート・テロワール

「ライバルは輸入食品」を合言葉に山形大学農学部を中心に地元の農家・加工業者・小売店が一丸となってチームを結成。食料自給率を高める新たな取り組みが行われています。

11月定例議会

2022年11月30日～12月16日

「やまぐち未来維新プラン」の基本方針である三つの維新、産業維新・大交流維新・生活維新を強化し、安心で希望と活力に満ちた山口県の実現に向け、これから本県が立ち向かう、人口減少・少子高齢化や厳しい社会情勢であっても、活力に満ちた産業、にぎわいに溢れ、安心・安全で持続可能性を備えた地域社会を目指す山口県の強い思いを感じ、これから取り組まれる5年間の維新プランが、20年30年先の次世代の人たちが希望と誇りを持って暮らせる山口県にしていきたいと思います。

- 1 原油価格高騰などの経営危機に苦しみ県内加工業者支援について
- 2 人口減少について
- 3 夜間中学について
 - ①夜間中学ニーズ調査について
 - ②自主夜間中学に対しての支援について
- 4 防犯カメラ・カメラ付き防犯灯設置について



各大学の魅力向上や若者の県内定着の促進に向けた取り組みを進めてまいります。と内海総務部長からご答弁をいただきました。

3 夜間中学について

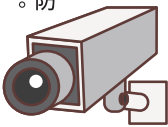
- ①ニーズ調査について
- ②支援について

夜間中学のニーズ調査が行われましたが、ウエブでの調査が中心に行われていると感じ、ウエブ環境にない高齢者の方に対し、ニーズをどのように把握していくのか、同時に山口県内で既に始まっている自主夜間中学の動きに対し可能な限りの支援を検討していくべきだと強く思い質問いたしました。

A 県教委では、報道発表や新聞掲載などにより、周知・広報にも努め、高齢者にも届く調査となるよう工夫しながら、引き続きニーズの把握に努めてまいります。次に、いわゆる自主夜間中学に対しての支援については、現時点、考えておりませんが、県教委としては、現在実施している調査により、まずは公立夜間中学に対する潜在的な需要の有無を全体的に把握してまいりたいと考えております。と木村副教育長からご答弁をいただきました。

4 防犯カメラ・カメラ付き防犯灯設置について

地域ボランティアの見守り隊をはじめとする地域の皆さまのご尽力をいただき通学路は安全な登下校が行われていますが、帰り時間が遅くなったり、一人で行く場合も見受けられます。また、中・高校生などは部活等特に冬季は暗がりや一人で帰路につく場合も安全や往來する方のため、また、犯罪抑止や検挙率向上のために様々な場所への防犯カメラやカメラ付き防犯灯の設置を訴え質問いたしました。



A 自治体や事業者のほか、関係機関、団体等に対して、様々な機会を通じて防犯カメラ設置の働きかけを行い、自治体等と連携した犯罪抑止対策に取り組んでまいります。と中西警察本部長からご答弁をいただきました。

令和5年度6月補正予算「防犯対策の充実強化による県民生活支援事業」で自治会が設置する防犯カメラの設置費用補助が予算化されました。

1 建設DXを活用した耐震化への取り組みについて

トルコ・シリア国境における大地震では、ダム堰堤の一部が決壊し、近隣の村では思いもよらない洪水の被害も出ました。国内で起きたこれらの地震でもダムの堰堤が決壊するなどの事例もあり徹底した管理が必要です。建設から年数が経過したダムが多い山口県での耐震化への取り組み、河川堤防などの維持管理への建設DXを活用した県が管理している土木施設の耐震化への取り組みに対し質問いたしました。

2 グリーン成長プロジェクトについて

- ①グリーン成長プロジェクトがもたらす農業振興

国は、農村の所得の向上・地域内の循環を図るため、営農型太陽光発電の導入等による再生可能エネルギーの活用を促進することとし、食料・農業・農村基本計画に位置づけています。営農型太陽光発電を山口県でも今以上に取り組むことで、県内における荒廃農地、耕作放棄地といった農地の再生にもつながり、農業への新しい担い手の発掘にも繋がると思っています。補助負担するなど支援すべきところは支援することで、県内農業の更なる振興と課題解決につながり県が取り組むグリーン成長プロジェクトにつながっていくと思いい質問いたしました。

② 洋上風力発電事業への取り組み

日本では、今後、再生可能エネルギーの発電量を増やしていくためには、風力に頼るべきと考えられ、山口県においても風力による発電に備える必要があると考えます。洋上風力発電によるメリットもあり、山口県でも風が強いとさ



2月定例議会

2023年2月20日～3月10日

令和5年2月6日に発生したトルコ・シリア国境における大地震の報道を垣間見、地震国である日本において、老朽化しつつある山口県内のインフラの耐震化への取り組みの確認、山口県が取り組むグリーン成長プロジェクトへの提言、子ども達が受ける教育体制の平等な提供をテーマに、一期目最後、通算16回目の一般質問をさせていただきました。

- 1 建設DXを活用した耐震化への取り組みについて
- 2 グリーン成長プロジェクトについて
 - ①グリーン成長プロジェクトがもたらす農業振興
 - ②洋上風力発電事業への取り組み
 - ③県有施設における取り組み
- 3 平等な教育体制の提供について
 - ①照度及び照明環境
 - ②県立学校の照明のLED化

れる日本海沿岸などは適した海域と言えます。企業誘致の観点からも洋上風力発電を前向きに捉え、検討していくことは、非常に有意義な取り組みだと考え質問いたしました。

③ 県有施設における取り組み

原油価格の高騰に伴う電力代金の高騰は、山口県の財政にも影響を与えています。

多くの事業所では、電力代金のコストを抑えるため、照明を蛍光灯からLEDに切り替えるなどの努力をしながら、大幅な電力代金の値上げに対応し、経費削減はもろろん力（ポテンシャル）への取り組みをすでに始めています。県有施設における照明などのLEDへの取り換え作業は、グリーン政策に取り組みとうる山口県として真っ先に行うべきことだと思ひ、取り換えが終わっていない箇所への切り替えについて質問いたしました。

3 平等な教育体制の提供について

- ①照度及び照明環境

県立の学校における教室の照度を考える上で、全ての教室において理想とされる500～1000ルクス、最低でも500ルクスが今後の基準となります。学校に差が生じないようにし、タブレット端末などコンピュータを使用する教室等においては、画面等に反射や影が少なくなるよう留意しなければいけません。学校環境衛生基準に示されている照度及び照明環境における今後の県立学校に対する取り組みについて質問いたしました。

② 県立学校の照明のLED化

県立学校の照明を平等にするためにも、全ての学校の照明をLEDに変更するべきです。カーボンニュートラルへの挑戦を若い世代に周知することが出来、目標としている2050年を主役として活躍する次世代の方々への一番の意識づけになることが期待できる上、LEDは蛍光灯よりも寿命が三倍以上長く、高所に対しての頻繁な取り換えも軽減することが出来、大幅なコスト削減にもつながることから質問いたしました。

A LED照明等の省エネルギー設備の導入に努めることとしており、老朽化や故障した照明設備の交換時に加え、学校施設の改築や大規模改修に併せ、順次、LED化を進めていくところです。学校施設全体の整備の中で、緊急度や優先度を総合的に勘案しながら、LED照明設備の導入を計画的に進めてまいります。と木村副教育長からご答弁をいただきました。



6月定例議会

2023年6月21日～7月7日

4月に行われた山口議員選挙の挨拶廻りなどで、ロシアのウクライナ侵攻や円安から影響を受けてしまった原油価格高騰による光熱費の対策を介護施設や障害者支援施設等の方々からの困窮されている叫び声として伺い県政に届けてまいりました。また、5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へと移行し、反転攻勢が期待される海外などからの山口県への誘客への取り組みを提言してまいりました。

- 1 光熱費高騰対策について
 - ①介護事業者の支援の改善と拡充
 - ②障害者施設等事業者の支援の改善と拡充
- 2 山口県のインバウンド強化について
- 3 竹林対策について
- 4 自転車のヘルメット着用努力義務について
- 5 状況に応じた信号機の設置について

1 光熱費高騰対策について

- ①介護事業者の支援の改善と拡充
- ②障害者施設等事業者の支援の改善と拡充

介護事業所の運営者から、令和4年度に行われた介護施設等・障害者支援施設等光熱費高騰緊急対策支援事業について、改善の余地がないのだろうかとの話を伺いました。医療機関への支援や、他の都道府県の同様の事業と比べて、支援が足りておらず、介護の現場では保険料が決まっている関係で光熱費の高騰分を利用者に転嫁することが出来ず、資金面で大変な苦勞をされています。近年、介護事業者、障害者福祉事業者の倒産は高い水準となっています。安定した事業運営の為に、光熱費高騰対策支援事業の改善、拡充を含めた今後の取り組みについて質問いたしました。



2 山口県のインバウンド強化について

山口県産品のPRや産業力強化を目指して、本県のすばらしさをPRし、誘客等を図るため

知事が台湾訪問を予定されました。山口県が観光の重点市場と考えている台湾からの定期便などを誘致することは今後の山口県の観光に必ずプラスに作用すると提言させていただきます。今後の取り組みを質問いたしました。

A 関係団体等と緊密に連携しながら、本県と台湾等を直接結び国際便を誘致することにより、本県観光にとって重要なインバウンドの推進に取り組んでまいります。と村岡知事より力強いご答弁をいただきました。

3 竹林対策について

令和5年4月に供用開始された農林業の知と技の拠点では、産学公連携プラットフォーム体制により、竹に関する研究にも取り組んでいただきたいとお願いしました。また、竹に対する技術を持つ企業を誘致して竹林を整備していく方法もあります。厄介者と思われる竹が実は宝物となる原石、県益につながる物なのかもしれません。山口県として今後、どのように竹林対策に取り組まれるのか質問いたしました。

4 自転車のヘルメット着用努力義務について

県立学校におけるヘルメットの着用義務について、自転車で通学する生徒から、被ってきたヘルメットの室内保管場所の確保、また、髪型を整える更衣室などを充実してほしいという生徒の声がありました。生徒たちの命を守るヘルメットの着用率を上げるためにもそのような場所の確保検討は出来ないものか、着用義務に取り組まれる県教委の各学校に対する準備はどのようになっているのか質問いたしました。



5 状況に応じた信号機の設置について

交通量の多い市道で右折レーンのない交差点に設置されている信号機を、交互通行式や歩車分離式信号機に切り替えていくことはできないでしょうか。また時差式信号機は、対向車線側からは信号灯火がわからないため、渋滞が起これば信号機が見受けられます。県内の交差点における信号機を道路の状況に応じたものにするのが県民を悲惨な交通事故から守ることにつながるかと質問いたしました。

11月定例議会

2023年11月29日～12月15日

先に行われた9月議会は一人会派の人数調整の関係で当選以来、初めて一般質問の無い議会を過ごしました。11月議会までの間に、山口県内では、上関町への使用済核燃料中間貯蔵施設建設、国内では、例年以上のクマによる被害。国外では子ども達が犠牲となるイスラエル・パレスチナ情勢の急転など多くのニュースが溢れました。

- 1 確実な文化財保護について
- 2 想定以上の豪雨災害対策について
 - ①内水氾濫対策について
 - ②住民負担の無い河川管理について
- 3 YPKまっぴぐを活用したクマの管理対策について
- 4 県立高校再編整備における様々な取り組みについて
 - ①再編整備による廃校の跡地利用
 - ②再編整備によるコミュニティ・スクールの継続
- 5 誰にでも安心な暮らしづくりについて



1 確実な文化財保護について

山口県指定の記念物である防府天満宮大専跡におきましては、令和5年7月の集中豪雨で石垣並びに土塀が崩壊し非常に危険な状態となっております。皆さまの安全の為に令和6年度予算に組み込んでいただき、一日も早い復旧がかなうようお願いしました。様々な状態にある山口県内の文化財は長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日の世代に守り伝えられてきたかけがえのないものです。そんな貴重な文化財を、今後どのように護り、後世に伝えていくのか県に質問いたしました。

A 災害によりき損した指定文化財については、早期復旧を図るため、被災後、速やかに現地調査を行い、き損状況を確認した上で、原状復旧に必要な費用を支援しています。私は、今後とも、貴重な文化財を次世代に確実に引き継いでいけるよう、国や市町等と連携しながら、文化財の適切な保護に取り組んでまいります。と村岡知事から力強いご答弁をいただきました。

2 想定以上の豪雨災害対策について

①内水氾濫対策について

山口県内において内水氾濫した、するかもしれない場所を正確に把握し、地下への大規模な放水路や貯水池の建設が必要ではないかと考えます。耕作放棄地を借り上げ、掘り下げ貯水池を建設するなど、豪雨に対する備えを一刻も早く検討、予算確保すべきと提言しました。内水氾濫被害が起らないように、どのような対策をとられるのか質問いたしました。

②住民負担の無い河川管理について

氾濫を防ぎ、県民の生命、財産を守るためにも、住民の負担が無く、川本来の姿を管理者の責任で保てるような予算確保を強く要望しました。県管理下の河川管理はしっかり県の予算ですべきだと考えます。治水という大切な事柄において、近隣住民に負担を掛けない管理を今後どのように取り組んでいかれるのか質問いたしました。

3 YPKまっぴぐを活用したクマの管理対策について

国内の生息域の西限である山口県では、2023年は過去10年で最多のクマの目撃となっております。今年は今のところ人的被害は出ていませんが、昨年6月には、若国市の山間部で、70代男性が道路を散歩中にクマに遭遇し、首などに全治数週間のけがをされました。YPKまっぴぐの目撃地域を活かし、人の生活圏とクマの生息域の環境整備によるツキノワグマ管理の更なる徹底のために今後どのように取り組んでいかれるのか質問いたしました。

4 県立高校再編整備における様々な取り組みについて

①廃校の跡地利用

廃校で使わなくなる施設を夢のある跡地利用のために住民の皆さんや在校生の生徒と協議していくことはできないか提案しました。「地域教育力日本一」の取り組みを継続していくためには、高校がなくなる地域に、今まで以上に多くの学校が加わり、その地域の子どもたちを盛り上げていくことが必要です。高校が失われてしまつ地域へどのようなフォローをされるのか質問いたしました。



A 県立高校が再編整備の対象となった地域においても、地域連携の取り組みを充実させていけるよう、地元にも高校がない地域での好事例を提供するなど、小・中学校や地域の実情に応じた支援を行ってまいります。と木村副教育長からご答弁をいただきました。

5 誰にでも安心な暮らしづくりについて

視覚障害者の方にとって命綱ともいえる点字ブロック。横断歩道に設置してあるものはエスコートゾーンと呼ばれ、特に大切な点字ブロックと言えます。突起体の消失、摩耗、変形等が、視覚障害者による検知を困難にすることを認識し、維持管理に努める必要があります。優先設置場所に沿った県内横断歩道へのエスコートゾーンの早急な設置はもちろんです。既存のものには厳正な管理が必要です。山口県警察における今後の取り組みを質問いたしました。



令和5年

おもな参加行事・活動報告

おかげさまで防府市はもちろん、山口県のたくさんの方々とお会いする機会をいただきました。



防府市内に多い県管理の河川。維持管理の住民負担が無きよう一般質問にて要望、質問いたしました。



大道・観音口の地下道のタイルが隆起しています！歩行者・自転車などの通行の安全確保に対応。



農林業の知と技の拠点供用開始！お気軽にご利用ください。11月3日にイベントが開催されました。



選挙期間中に末田地区で道路の不備発見。早急に対応させていただきました。



6月30日～7月1日の警報級の豪雨で天神山から土砂が水路沿いに迫戸川に流出。橋桁に迫る勢いの為、地元消防団の有志と人力で撤去作業。その後重機など市から投入して頂きいつもの流れに戻りました。私、松浦多紋はどこにいるのでしょうか？



元井上県議から山口県ベタンク連盟の会長を引き継ぎ、令和5年のねんりんピックには防府の選手が出場しました。



越水寸前の用水路。内水氾濫の原因ともなる状況を打開するための提言を11月議会で発言し、質問。



山口県指定の記念物である防府天満宮大専坊跡で石垣と土塀が崩壊。早急な予算確保を11月議会で要望。



今年も開催！山口の一次産業の活性化には、6次産業化、農商工連携が今以上に必要となります。



台湾との強い絆は行政のみならず、民間の交流も重要になってきます。民官力を合せて取り組みます。



山口県畜産共進会。和牛・ホルスタイン共進会に農林水産委員として出席。食卓に山口県産和牛と牛乳を！

お気軽にお越しください！
 2024年2月23日(金・祝) 11時～
 防府天満宮 参集殿にて 入場無料

松浦多紋県政報告会

を**開催**いたします！
 出欠は、右記QRコードからお願いします。




防府天満宮の花神子参りに、お手廻り保存会「箱役」として20年以上参加。自衛隊の皆様や市内有志の方、防府青年会議所メンバーの皆様と楽しく活動しています。

松浦 多紋事務所 \ 皆さまの声をお聞かせください! /

県議会議事録は
 こちらから→



〒747-0046 山口県防府市千日2-6-6
TEL 0835-25-2525
 FAX 0835-23-7470
 matsuura.tamon@gmail.com

フェイスブックを
 されている方は
 お気軽に
 友達申請を
 お願いします！

松浦 多紋
 フェイスブックページ
 facebook.com/tamon.matsuura



松浦 たもんとみんなの会
 フェイスブックページ
 facebook.com/matsuura.tamon/



県議会議員 松浦 多紋の山口見聞録

県政報告紙

Vol.5

2022.12月発行



新型コロナウイルスとの闘い

新型コロナウイルス感染症との戦いもうすぐ3年となり、当たり前であったコロナ禍以前の生活への感謝が日に日に増しているのと同様に、コロナ禍で経験した、新しい生活スタイルなどをこれからの新型コロナ対策、新型コロナ後の反転攻勢（WITH、AFTER）が出来るようしっかり取り組んでまいります。また、県民の誰もが山口県民でよかったと実感できる提言を皆さまの声として県政に届けられるよう、議会の場において発言し続けてまいります所存です。近況報告と致しまして常任委員会は土木建築委員会、

特別委員会も人にやさしいデジタル社会実現特別委員会に席を頂いておりますことをご報告させていただきます。

故安倍晋三先生 県民葬儀

7月8日午前11時半ごろ、安倍晋三元首相が参院選の街頭応援演説中だった奈良市の近鉄大和西大寺駅前で凶弾に倒れられ不慮の死を遂げられました。憲政史上最長の通算3188日（約8年半）に及ぶ政権の内政上、外交上の業績は数多く、第一次政権では教育基本法の改正と国旗国歌法の制定。防衛庁を防衛省へと昇格。第二次政権では、アベノミクス、オリンピック招致、インド太平洋構想の発案（後のQUAD）、国家安全保障会議（NSC）の設立、平和安全法制など多くあります。第90、96、97、98代の内閣総理大臣を務められ、従一位、大勲位菊花章頸飾を贈られましたが、日を増すごとにご功績に対する感謝の念が膨らんでいきます。

私は、本葬や国葬への参列はかたがたありませんでしたが、7月10日、渋谷区のご自宅に伺い、拝顔させて頂く機会を頂戴しました。安らかに目を閉じていらっしゃる顔の中ではありますが、まだまだやり残したことがあるという思いを感じたことが今でも思い出されます。

10月15日、下関の地におきまして村岡知事が委員長の前、県民葬儀が営まれ、お別れをさせて頂きました。生前、取り組まれた教育基本法の改正や教育再生実行会議で取りまとめた11回の提言、幼児教育・保育の無償化、高等教育の修学支援新制度の創設など、教育行政の推進に、言い尽くせないほどの多大な貢献をなされた教育に対する想いを見習い、山口県の教育に対し更に注力させていただきますとお誓い申し上げ献花をさせて頂きました。

混沌とした平成、令和の日本を、卓越した政治手腕とリーダーシップのもと牽引頂きました事に対し感謝申し上げるとともに、衷心よりお悔やみ申し上げます。



土木建築委員会県外視察 10月12日～13日

道路交通の円滑化と 災害等に強い道路ネットワークの構築 都市計画道路 原松原線(トンネル)

交通渋滞の緩和を目指し、国道306号のバイパスを整備し道路交通の円滑化を目的に令和7年度の国体開催までに供用を目指して現在工事中。住宅地近くの為ダイナマイトによる発破をせず、1135メートルのトンネルを令和2年1月から令和4年3月までの短期間に貫通させ仕上げの段階です。



防災拠点の災害用電源として 利用される水力発電 「甲津原小水力発電所」

災害発生時の広域避難場所である甲津原交流センターに電源を供給するため、農業用水を利用して僅かな場所で発電しています。

完成直後に台風の被害により孤立・電源が消失した際、この発電システムにより住民の方の多くが救われたとのこと。



- 1 ロシアとの友好交流について
- 2 事業達成のための情報通信インフラ整備について
- 3 公立夜間中学について
 - ① 国通知の周知と対応について
 - ② 外国人雇用の推進に向けた日本語学習の環境整備について
 - ③ 誰もがいきいきと輝く地域社会の実現に向けた県教委との連携について
 - ④ ヤングケアラーへの対応に係る県教委との連携について
 - ⑤ 夜間中学に対する県教委の所見について
 - ⑥ 自主夜間中学等の取り組みの把握及び支援について
- 4 警察行政について

議会直前の2月24日、ロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。ミサイルの爆撃等により多くの施設が破壊され、幼い命を含む尊い人命が奪われました。山口県はロシア西部南側のクラスノダール地方と2017年4月26日、友好・交流に関する協定を結んでいます。国としての侵略行為ではありませんが、地域間の交流に水を差されたくないところです。新型コロナウイルス感染症とウクライナ侵攻のショックは計り知れないダメージではありますが、生き活きと生活するうえでしっかりとした土台作りが必要との思いから質問いたしました。

1 ロシアとの友好交流について

山口県は、クラスノダール地方と友好・交流に関する協定を結んでいます。また、長門市とクラスノダール地方・ソチ市は友好都市協定を締結し、友好交流をしています。長門市は、故安倍元首相とプーチン大統領が懇親を深めた場所でもあります。県として友好交流している、戦地に近いロシア・クラスノダール地方の知事を介しロシアに抗議するなど、平和的な解決に一石を投じることはできないか。軍事行為の一日も早い解決に寄与していただきたい。民間同士での交流は、タイミンクを見計らい、時が来たらそれまで以上緊密なことを行う

べきだと思えます。戦禍にある両国の動向にもよると思いますが、今後の友好交流への取り組みに対する考え方を質問いたしました。

A このたびのロシアによる侵略は、ウクライナの主権と領土を侵害し、国際社会の平和と秩序の根幹を脅かすものであり、断じて容認できないと考えています。

県としては、クラスノダール地方との交流が、地域間の交流であり、国の動きに直ちに結びつくものではないものと考えていますが、今後の交流事業の取扱いについては、国際情勢や国の動向を注視しながら、適切に対応してまいります。と三坂観光スポーツ文化部長からご答弁いただきました。

2 事業達成のための情報通信インフラ整備について

5Gを活用した学習支援の現実化や企業誘致の切り札にするためにも、中山間地域等を含む高速情報通信網の整備は欠かすことができず、県内の光ファイバ整備を年度内に限りなく100%に近いレベルで達成する必要があります。という思いから、令和2年6月議会において、

コロナからの反転攻勢の中で光ファイバの必要性を訴え、県の所見を質問いたしました。



県が令和3年度にスタートし、令和4年度も引き続き取り組もうとしているデジタル関連の対応において、通信インフラによる影響を受けてしまう地域、地域格差があつてはいけません。令和2年6月以降一年半以上経過した現在の通信インフラ整備の進捗状況と今後の県の対応を質問いたしました。

A 県内各地域でデジタル化の取り組みを推進するため、その基盤となる光ファイバ網が県内全域でくまなく整備されるよう、今後も、全国知事会デジタル社会推進本部の本部長として、国への要望・提言等を行いながら、市町や通信事業者としっかりと連携をし、整備促進等に向けた取り組みを着実に進めてまいります。と村岡知事からご答弁いただきました。

3 公立夜間中学について

文部科学省からの夜間中学の設置・充実に向けた取り組みの一層の推進に係る依頼がありました。夜間中学の設置状況は、12都府県36校となっております。



戦後の混乱期に学校に通えなかった義務教育未修了の70代の女性のコメントです。

『夜間中学の好きなところは、いくつになっても学べるところ。卒業したら、ヘルパーの資格を取ってみたい。健康でいられたら高校にも行きたい。心理の勉強もしてみたい。』など、夜間中学のような学びの場の創出は、地域で活躍する高齢者の応援や生涯現役社会づくりに向けた総合的な取り組みとなり、高齢者を対象とした事業に厚みを持たせ、一層満足して山口県での生活が送れる事業になると思います。

十分な学びを受けることができます、進学を諦めざるを得なかったヤングケアラーや、何らかの理由で不登校になってしまい、学びが不十分なまま義務教育が終了してしまった方など、学べる・学び直し進学、正

規就職への機会を得ることができると可能性を秘めているのも夜間中学だと思えます。誰もがいきいきと輝く地域社会の実現にも相通するものがあると思います。

また外国人にとって日本語も文化も生活マナーも学べる夜間中学は、企業、外国人にとって多くのメリットがあります。外国人が日本語などを学べる環境を整えれば、今後の県経済を支える外国人雇用を更に推進していくことができます。

文部科学省が強く依頼する夜間中学の設置をすることが出来れば、行き場を失った子どもたちの教育はもちろん、広い世代の方にとって無限の可能性と、山口県が抱える様々な問題の解決につながると思いい言、質問いたしました。

4 警察行政について

防府市役所跡地への警察署の移転は、市役所の利用者はもちろんその一角を往來する市民にとって重要な場所だと認識しております。建設の際は、安全がしっかりと確保された入口、交差点周辺での追突事故の発生、それらの事故が起因する歩行者の巻き添え事故、渋滞などの発生が無いようあらゆる想定を行い、市民に喜ばれる素敵な警察署の建設を期待しております。市役所庁舎跡地に移転建替することについて、防府市の了承を得ているのか、建設における県警と防府市との契約状況、土地の取得代金、賃料等の詳細を質問いたしました。



新型コロナウイルス感染症も6波と7波の間の比較的落ち着いた期間に開催された議会となりました。県が行ってきた取り組みなどで県内観光業も活気を取り戻しつつあり、その経験を更に生かすことが必要だと感じています。

防府法人会やライオンズクラブなどで献血活動をさせて頂き、県内の献血運動のさらなる充実に向けた取り組みや、何度も質問しています野犬問題解決に向けた二つの問題を示し、安心して生活できる環境づくりなどを提言させていただきました。

- 1 ウクライナ避難民への支援について
- 2 新型コロナウイルス感染症の経験からの一手について
- 3 献血運動について
 - ① 若年層に対する献血運動の取り組みについて
 - ② 個人に対する知事感謝状について
 - ③ 校内献血について
- 4 人と動物の安心なくらしづくりについて
 - ① 野犬対策について
 - ② 野犬のすみかとならないような空き家対策について

1 ウクライナ避難民への

支援について

2月の土木建築委員会で、県営住宅をウクライナから避難される方へ提供して頂きたいと要望した結果、20戸の県営住宅支援や、ウクライナ避難民支援プロジェクトチームを立ち上げられ、このたびの補正予算においても、1世帯20万円の生活準備金の支給を用意され、重ねて感謝申し上げます。ウクライナ避難民をはじめ、県内にお住まいの12人のウクライナの方々へ、県自身が積極的に寄り添う必要があると思いますが、県は現在までどのような対応をされたのでしょうか。また、県として市町と連携

し、このような県の取り組みは告知されていると思いますが、どのように告知し、そのプロジェクトチームの認知度を高めているのか県としての取り組みを質問いたしました。

2 新型コロナウイルス感染症の

経験からの一手について



Withコロナの後のAfterコロナと言われるタイミングになった時に、本県への観光需要を落とさずに継続、上昇させる対策を打つべきではないかと考えます。平日の観光客として、観光地を訪れる旅行者である修学旅行を山口県内観光関連業の為に、コロナ以前よりも増やす絶好の機会であると感じるとともに、コロナ禍で培ったキャンペーン(『行こうよ。やまぐちプレミアムキャンペーン』や『旅々やまぐち県民割』)のノウハウを修学旅行を対象に構築できないものかと思えます。

修学旅行を誘致することで、特に平日の観光需要の拡大につながると思います、県の所見を質問し、今後の観光における県外からの一般観光客の誘致に対し、どのようなかじとりをしていくのか質問いたしました。

修学旅行は、経済効果が大きく、平日の観光需要にもつながることから、県ではこれまで市町や関係団体等と連携し、その誘致に取り組んでいます。具体的には、首都圏や関西圏の旅行会社を直接訪問し、修学旅行の積極的な誘致活動を行うとともに、農業体験など各地域の修学旅行向けのプログラム開発や、修学旅行の誘致にもつながる団体バス旅行への助成などに取り組んでいると伺います。

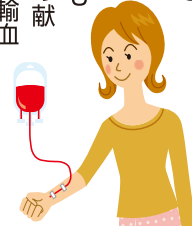
一般観光客の誘致は、多くの観光客が見込める東京、大阪、広島、福岡等の地域を対象に、観光動態に関するビッグデータに基づき、旅行者のニーズに即した効果的なターゲット広告を配信し、本県への誘客の拡大につなげていくこととしています。と三坂観光スポーツ文化部長からご答弁いただきました。

3 献血運動について

① 若年層に対する

献血運動の取り組みについて

少子高齢社会が進むにつれて、若年層の献血者が減少していく状況が続くと、2027年には約85万人の献血者が不足するという輸血医療に重大な支障をきたす恐れがあるとされています。



県では、令和4年度山口県献血推進計画で献血に対する取り組みがなされていますが、日本赤十字社が若年層への献血運動に向けて、どのような形で寄り添い、進めたいかのか質問いたしました。

コロナ禍においても、多くの献血機会が確保されるよう、今年度も、赤十字血液センターの移動採血車の受け入れについて、学校や企業等に対し、協力要請を行うこととしています。

私は、一人でも多くの尊い命を救うため、引き続き関係機関等と連携し、将来にわたる安定的な血液確保に向け、若年層の献血推進に取り組んでまいります。と村岡知事からご答弁いただきました。

② 個人に対する知事感謝状について

献血運動推進を支える個人に対する知事感謝状は、県においてもすぐにも取り組めると考え、区切りの献血回数等で県独自

の感謝を示すことは、献血に協力している方のモチベーションにつながり、献血運動の発展に寄与すると思ひ質問いたしました。

4 人と動物の

安心なくらしづくりについて

① 野犬対策について

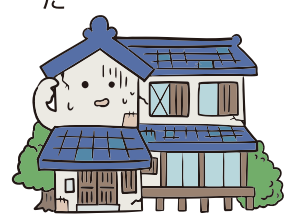
先発し成果をあげている「しゅうなん通報アプリ」を、防府市をはじめ、野犬対策を求める住民が住む地域で野犬の出没や無責任な餌やりに関する情報提供を受けることができるシステムに改善し、県として主体的、積極的に導入すべきと思ひ質問いたしました。また、県は、「周南地域の野犬問題に関する連絡協議会」を立ち上げ、その事務局もされているので、防府市などでも県が主体となり取り組むことは十分可能だと質問いたしました。

② 野犬のすみかとならないような

空き家対策について

県が市町と連携し空き家に対し様々な対策はされているが、その中でも野犬のすみかとなっている、また、なりそう

な空き家には特に力を入れ、関係部局とも連携し、優先的に野犬のすみかとならないような対策をすべきであると思ひから実際の場所を示し質問いたしました。



コロナ禍での3回目の夏を経験しました。新型コロナウイルス感染症の7波の衝撃は私たちに色々なことを示してくれたと思います。私は、濃厚接触者、陽性者をともに体験し、今後の感染症に対する取り組み方で、県民の皆さまの安心と、対応して下さる方の負担軽減につながると強く感じた次第です。

その他、夏の間に起こった他県での子ども事故を教訓に県内の安全確保、高校教育の平等な提供について取り上げました。

- 1 新型コロナウイルス感染症について**
- ① 保健所の確実な運営について
 - ② 陽性者に対する山口県の今までの取り組みについて
 - ③ 宿泊療養施設の運営について
- 2 農業振興におけるチャンスについて**
- ① 河川や農業用水路の安全確保について
 - ② スクールバスの安全確保について
- 3 尊厳の命からの教訓について**
- ① 河川や農業用水路の安全確保について
 - ② スクールバスの安全確保について
- 4 地域バランスの取れた平等な教育の提供について**



1 新型コロナウイルス感染症について

① 保健所の確実な運営について

② 陽性者に対する山口県の今までの取り組みについて

③ 宿泊療養施設の運営について

私は新型コロナウイルス感染症の陽性者となり、宿泊療養施設を利用していただきました。

厚労省の新型コロナウイルスに係る適応人材の確保に「HEAT」「新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材の確保」があり、感染拡大に対し、更なる保健所体制の整備を目的に立ち上がっております。保健師、看護師等の団体等から3千人を超えて登録され、支援の準備は整っているが、山口県では取り入れておらず、第7波の感染拡大において市民の方からの問い合わせなどに支障をきたしたと感じました。その状況におかれた方にとって連絡さえスムーズにつけば不安の解消になったのではないかと感じました。同時に、HEATを導入出来れば保健所の方の負担軽減につながったのではないかと感じました。県民が安心して生活できる基盤（罹患や濃厚接触者となった際スムーズに関係機関と連絡が取れる）を守る為にも、保健所で従事されている方の負担を少しでも軽くし、円滑な運営の

ために今後の備えとして、厚労省が主導している「HEAT」の取り組みを山口県でも活用し、県民の健康と安全を守るべきと考え質問いたしました。

2 農業振興におけるチャンスについて

輸入小麦の高騰や品不足が続く中、セブンイレブンは秋以降に発売するカップうどんの原料をすべて国産小麦に切り替え、地域限定のうどんに地元産の小麦を使用すると発表しています。また、国では国産小麦への切り替えを推進する事業を立ち上げ、単収や品質の向上、生産拡大に向け、農業者団体等の団地化や営農技術導入などの取り組みを支援することとしています。

国産小麦の需要が増えるであろう環境に対して、国の事業などを県主導で確実に進める事で、農業振興へのチャンスであり、このチャンスをものにできれば、白い粉も令和の防長三白として県農業の屋台骨になると思ひ、県内産小麦増産に向けた県の今後の取り組みについて、具体的な目標を持った所見を質問いたしました。

A 「やまぐち未来維新プラン」の素案において、小麦を含む戦略作物の作付面積を成果指標に掲げ、生産拡大に取り組みをしております。

このたびの県産小麦の需要の高まりをチャンスとして捉え、JA等の関係団体と連携しながら、小麦の品質向上と増産を進めることにより、本県の農業振興にしっかりと取り組んでまいります。と村岡知事からご答弁いただきました。

3 尊厳の命からの教訓について

① 河川や農業用水路の安全確保について

高岡市の2歳の男の子が自宅周辺の増水した用水路に転落して海まで流され死亡するという事故を受け、住宅街を流れる河川や、農業用水路に立ち入りをし辛くするガードレールなど設置することで、住宅街の幼児、通学時の子ども、高齢者の方を守る事が出来ないかと感じました。

県が管理されている住宅街近くや幼稚園・保育園、小学校近くの河川と農業用水路などの安全管理についての取り組み、近隣住民の方々の生活をおびやかす喫緊の課題に対しどのように取り組まれるのか質問いたしました。

② スクールバスの安全確保について

静岡県牧之原市の認定こども園で、送迎バスに3歳の女の子が置き去りにされ死亡するという痛ましい事故が起きました。送迎バスに関しては令和3年7月29日にも福岡県内でも同様の事故が発生し、わずかな期間で同様の事故が発生したことに憤りを感じました。

このような事故を未然に防ぐ取り組みこそを要し、二度と同じ事故が起こらないよう対策することへの必要性を感じ、山口県版、登園送迎バス運行安全管理ガイドラインのようなマニュアルを早急に作成し安全管理を徹底すべきだと要望・提言し質問いたしました。

A 今回の事故を受け、直ちにすべての幼稚園等に対して、文書による注意喚起を県独自に行うとともに、国の通知に基づき、安全管理が適切に実施されているか緊急点検を実施したところであり、今後、その結果を踏まえ、実地調査も行うこととしています。ガイドラインの策定に関しては、現在、国の関係府省会議において、バス送迎にあつた安全管理に関する検討が進められているところであり、安全管理マニュアルの整備を含め、具体的な緊急対応策が10月中旬にとりまとめられることとされています。県としましては、こうした国の動向等を踏まえ、幼稚園等における安全対策の強化に向けて適切に対応してまいります。と内海総務部長からご答弁いただきました。

4 地域バランスの取れた平等な教育の提供について

高校再編の動きで県央地区の防府高校佐波分校の募集を来年4月から止められ、学ぶ場所を奪われている現状です。

山口県東部と西部には中高一貫校が既に設置され教育体制が整っています。県外流出を防ぐ目的で更に東部と西部に追加するという案ではありませんが、防府・山口地区から県外の高校へ69名、中学には24人も流出している現状を踏まえ、未来の山口県を担う子どもたちに平等に学べる機会を与えていただきたいという思いから、県立の中高一貫校の新たな設置について地域のバランスの考慮をどのように考えているのか質問いたしました。



防府天満宮の花神子参りに、お手廻り保存会「箱役」として20年以上参加。自衛隊の皆様や市内有志の方、防府青年会議所メンバーの皆様と楽しく活動しています。

松浦 多紋事務所

皆さまの声をお聞かせください!

県議会議事録は
こちらから→



〒747-0046 山口県防府市千日2-6-6
TEL 0835-25-2525
 FAX 0835-23-7470
 matsuura.tamon@gmail.com

フェイスブックを
されている方は
お気軽に
友達申請を
お願いします!

松浦 多紋
フェイスブックページ
facebook.com/tamon.matsuura



松浦 たもんとみんなの会
フェイスブックページ
facebook.com/matsuura.tamon/





新型コロナウイルスとの闘い

新型コロナウイルス感染症との闘いも2年が経過し、
 当たり前であったコロナ禍以前の生活への感謝が目に見えて増えています。
 コロナ禍で経験した新しい生活スタイルを踏まえ、これからの新型コロナ対策への
 取り組みと新型コロナ後の反転攻勢にしっかりと取り組んでまいります。
 また、県民の誰もが山口県民でよかったと実感できる提言を県政に届けられるよう、
 議会の場において発言し続けてまいります所存です。
 近況報告といたしまして、

常任委員会は6月議会より「文教警察委員会」から「土木建築委員会」へ、
 特別委員会は「山口県の新たな活力創出推進特別委員会」「人にやさしいデジタル社会実現特別委員会」
 「令和2年度決算特別委員会」に席を頂いておりますことをご報告させていただきます。

令和3年 山口県の主なコロナ対策 ～がんばろう山口～

01 Stop the spread of infection

感染拡大 防止

医療提供体制の確保と医療機関等への支援や検査体制の充実、ワクチン接種体制等の整備。幼稚園、保育園、小中学校、高等学校、支援学校への感染防止対策の徹底のための予算です。

2月定例議会補正予算	8億3,882万円
2月定例議会 令和3年度当初予算	325億7,403万円
6月定例議会補正予算	102億 486万円
9月定例議会補正予算	25億6,857万円
11月定例議会補正予算	7億4,317万円

02 Stabilize our life

県民生活の 安定

新型コロナウイルス感染症の影響により生活にダメージを受けた方を支援する
 取り組みのための予算です。
 経済的困難を抱える世帯への支援や個人向け緊急小口資金等の特例など

2月定例議会補正予算	8億6,829万円
2月定例議会 令和3年度当初予算	1億 808万円
6月定例議会補正予算	29億2,783万円
9月定例議会補正予算	13億 500万円

03 Support the economy

県内経済の 下支え

県内事業者の事業活動の維持・発展を支援するための、金融支援や融資制度の
 拡充、各種キャンペーンによる消費需要の喚起策のための予算です。
 中小企業事業継続支援金、飲食店等の感染防止対策支援など

2月定例議会補正予算	650万円
2月定例議会 令和3年度当初予算	329億1,247万円
6月定例議会補正予算	64億6,728万円
9月定例議会補正予算	32億 991万円
11月定例議会補正予算	31億6,525万円

04 Stimulating consumer demand

消費需要の 喚起

県内店舗への資金支援と消費喚起を併せて行うため、購入型クラウドファンディングや県民限定の宿泊割引キャンペーンなどの実施。
 行こうよ。やまぐちプレミアムキャンペーン、旅々やまぐち県民割など

2月定例議会補正予算	19億2,657万円
2月定例議会 令和3年度当初予算	7,859万円
6月定例議会補正予算	43億1,236万円
11月定例議会補正予算	24億 688万円



新型コロナウイルス感染症による県財政への危惧、新型コロナワクチン接種の円滑な体制づくりと、年齢的にワクチン接種が出来ない世代への対策、一年近くに及ぶ新型コロナウイルス感染症による最もダメージを受けた飲食業、飲食業関連事業者をはじめとする、県内すべての事業者の皆さまからの声を提言・質問してまいりました。

松浦多紋の一般質問

- 1 令和3年度山口県当初予算について
- 2 新型コロナウイルスワクチン接種について
 - ① 新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種に向けた体制の整備について
 - ② ワクチン接種ができない世代への感染拡大防止に向けた取り組みについて
ア 施設等における取り組みについて
イ 学校における取り組みについて
- 3 県内経済の下支えについて
 - ① 県内飲食業救済について
 - ② 県内飲食業関連事業者救済について
 - ③ 県内中小企業及び個人事業主救済について
- 4 薬物の乱用防止について

3 県内経済の下支えについて

- ① 県内飲食業救済について
- ② 県内飲食業関連事業者救済について
- ③ 県内中小企業及び個人事業主救済について

個人事業主救済について

昨年2月の時点で行われていた山形県、富山県では飲食店等に対して、飲食店持続化対策や時短要請に協力した飲食店と直接取り引きがある事業者及び運転代行業のうち、経営に大きな影響を受けた事業者に対しての支援給付金を紹介し、山口県においても**一日も早く行っべきであると提言**いたしました。



ロジエクト」や県産農林水産物の需要喚起に向けたキャンペーンの実施、100億円に及ぶ国の「Good to Eat」と連携した需要喚起策を実施し、県内事業者や生産者の売上げ回復に取り組んでいます。持続化給付金の再度の支給や一時支援金の拡充等については、外出自粛による影響は全国に及んでいることから、全国知事会を通じて、国に対して手厚い支援の実施を要望しているところです。

県としては、今後とも、国に対して必要な要望を行いつつ、他県と比較しても遜色ない支援制度を事業者に確実に届けることにより、県内経済の下支えに努めてまいります。と福田商工労働部長より答弁いただきました。

↓昨年8月末から9月末まで飲食店等への時短、休業要請が行われました。

4 薬物の乱用防止について

山口県警では「STOP! 大麻!」対策強化事業において、AI技術で急増している県内の大麻乱用者の未然抑制に本年度から取り組みます。大麻・覚醒剤に加え危険ドラッグ等の乱用は、その家庭はもちろん、社会に計り知れない危害をもたらすものです。



一日も早く、大麻はもちろん、覚醒剤、危険ドラッグ乱用者がゼロになることを期待し、薬物の乱用防止に今後どのように取り組まれるのか質問いたしました。

1 令和3年度

山口県当初予算について

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として当初から多額の補正予算を組みました。令和3年度当初予算案は、財政が厳しい中にも関わらず、県民にしっかりと寄り添って頂ける予算案編成であり、まさに反転攻勢に向けた予算案だと感じました。

しかし、まだまだ何が起ころのか分からず、その時のために、国も有している準備費が必要になると思いました。令和3年度の当初予算案において準備費は2億円確保されていましたが、まだ余裕があった方が無難と考え、コロナ禍における準備費の設定を質問いたしました。

A 県としては、今回の予算において、対策に必要な事業費はしっかり確保したところであり、今後、追加の対策が必要となれば、補正予算の編成も含め、県議会の御意見も頂きながら、時機を逸することなく機動的に対応することとしています。と
内海総務部長より答弁いただきました。

2 新型コロナウイルス

ワクチン接種について

① 新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種に向けた体制の整備について

厚労省から出されている新型コロナウイルスワクチン接種実施に関する手引きによると、都道府県は市町村と必要な協力を行うとあります。

事前の打ち合わせや、シミュレーションなど円滑な接種に向け、全県体制での迅速な連携・協力体制が必要だと考え質問いたしました。

② ワクチン接種ができない世代への感染拡大防止に向けた取り組みについて

A 施設等における取り組みについて
イ 学校における取り組みについて

ワクチン接種がスタートした際、接種開始年齢は16歳以上でした。

ワクチン接種ができない世代が多く生活する学校や幼稚園、保育園、障害児施設等における感染症拡大防止に向けた県の取り組みについて質問いたしました。

③ 県内中小企業及び個人事業主救済について

本県における同様規模の取り組みについて県の考え方を質問いたしました。

A 本県では、県制度融資による事業者の資金繰り、新事業展開等への補助、消費需要の喚起の3つを柱に、事業者支援に取り組んでいます。さらに、「頑張るお店応援プ

新型コロナウイルス感染症の感染の爆発的な拡大の要因はクラスターにあり、すでに45件のクラスターを経験した山口県がどのように対策をしているのか、ワクチン接種において地域間での格差に対する県としての取り組み。コロナ禍における県内経済の立て直し。安全で安心して生活できる山口県であるために、問題となっている諸問題について、提言、県としての考え方を質問いたしました。

松浦多紋の一般質問

1 新型コロナウイルス感染症について

- ① クラスター対策について
- ② ワクチン接種の円滑な協力体制について
- ③ 有害鳥獣の活用について
- ④ 信号機のない横断歩道について
 - ① 回転灯の設置による安全確保について
 - ② 道路管理者としての安全確保について
- ⑤ 県内経済の下支えについて
 - ① 県制度融資について
 - ② 頑張る事業者リスタート支援事業について

2020年9月議会にて、山口県立総合医療センターへの救急搬送について、県立総合医療センターへの救急搬送を迂回することなく、一分でも、一秒でも早く到着可能なルートの確保の必要性を提言し、早くから一石を投じてまいりました。

2021年6月の議会におきまして、県知事より、当該道路を県道に位置づけることとし、今後、広域防災広場の整備を行う防府市と調整を図りながら、事業着手に向けて取り組んでまいります。との発言がありました。

様々なご意見等ありますが、提言させていただいたことが多くの皆さまのお力を頂き、県民である私たちにあって有益な形になっていくことに感謝しております。

1 新型コロナウイルス感染症について

① クラスター対策について

山口県で発生した45件のクラスターに対し、県ではそれぞれの状況をしっかりと分析され今後の対策も練っていることと思えます。クラスター予防、発生時の早期対応、クラスター対策にどう活かしていくのか質問いたしました。

A 医療機関や入所系の高齢者施設においては、外部からの感染の持ち込みをいち早く察知するため、4月から6月まで実施してきた従事者の検査について、7月以降も継続して実施することについてです。

こうした取り組みに加え、これらの施設でクラスターが発生した場合には、医師や認定看護師からなる専門性の高い「クラスター対策チーム」を派遣し、的確な初動対応と封じ込めを実施してまいります。と、弘田健康福祉部長より答弁いただきました。

② ワクチン接種の円滑な協力体制について

地域格差と思われるようなストレスを抱えない為にも、山口県の市町に対するフォローは今まで以上に必要になってくると思えます。



ワクチン接種における医師を含めた医療従事者の確保状況や接種会場の充実、円滑な接種にどのように取り組んでいくのか質問いたしました。

2 有害鳥獣の活用について

動物園で飼育されているライオンやハイエナにイノシシを餌として与える「屠体給餌」。餌代がかさみますが、動物の福祉と健康を向上させて、動物の望ましい行動を引き出す「環境エンリッチメント」の取り組み

みが近年実施されています。

県の取り組みとして、有害鳥獣として捕獲されているイノシシやシカを屠体肉として活用することが出来れば、駆除活動をされている方々の捕獲へのモチベーションや捕獲した鳥獣の廃棄を防ぐことができ、農作物の被害も軽減できる可能性が秘められています。屠体肉への取り組みが鳥獣被害対策の山口モデルとして全国に発信できると提言し、そのような取り組みへの県の所見を質問いたしました。

3 信号機のない横断歩道について

① 回転灯の設置による安全確保について

高さ2メートルくらいのポールの上に回転灯がついていて、横断歩道を渡りたい歩行者がボタンを押すと点灯する仕組みにすれば、日中でもドライバーからその回転灯が容易に見えます。特に木々が覆い茂る見通しの悪い横断歩道の近くや昼間でも薄暗い場所に設置することが出来れば、信号機よりずっと安価に登下校中の子供たちをはじめ、全ての県民の安全を守ることが可能ではないか。県警察に提案いたしました。



② 道路管理者としての安全確保について

横断歩道は、公安委員会の管轄であるが、「道路の構造の技術的基準を定める規則」の中に、交通安全施設に関する条項があることから、警察と土木建築部が連携を図る

ことで、先に提案した回転灯設置の取り組みにより、横断歩道における歩行者の安全確保につながると思えます。

信号機のない横断歩道において、ドライバーが歩行者をスムーズに見え、ドライバーを守りやすくする取り組みについて、道路管理者としての県の所見を質問いたしました。

4 県内経済の下支えについて

① 県制度融資について

2月議会で県内飲食業等の救済についても訴えましたが、その時点で限界に近かった飲食業者の方も多く、廃業に追い込まれた事業者もいらっしゃいました。

資金繰り支援については、県制度融資において、実質無利子の「新型コロナウイルス感染症対応資金」を創設し、「経営安定資金」と合わせて、5,200億円の融資枠を確保し資金繰りの円滑化を図っているとお答えいただきましたが、飲食業の方からは、「借金してまで続けるという賭けには出ることができない」といった声を聞きました。

県の用意した資金繰り支援の県制度融資の利用状況と、その中でも飲食業関連の方の利用割合を質問いたしました。

② 頑張る事業者リスタート支援事業について

頑張る事業者リスタート支援事業について、コロナ禍の影響を受けてしまった事業主に限定し、廃業に追い込まれてしまった飲食業者、飲食業関連事業者に対して、事業の枠を広げ再チャレンジできる仕組みを作ることはできないか。これから詳細を決定する頑張る支援事業について提言し質問いたしました。



2020東京オリンピック・パラリンピックで大きな感動と気づきを頂き、障害者スポーツに取り組んでいらっしゃる方々の『思い』を伺いました。障害がある方のスポーツを通じた社会参加、スポーツに取り組む上での負担軽減につながる糸口を模索しました。また、オリンピック後に新型コロナウイルス感染症感染拡大の第5波に山口県も巻き込まれました。私の身近な方も感染症に罹患され、その際に実感した思いと問題点を伺い、その問題を活かしてこそ感染症への準備が整うのではと感じ、山口県の対応とこれからの取り組みを伺いました。

また、防府地区からも多くの生徒が通学する県立高校の再編整備が進められています。学びに特色を持たせることで学校の存続に繋げることが出来ないか題材に取り組みました。

松浦多紋の一般質問

- 1 障害者スポーツに対する普及・促進について
 - ① 障害者スポーツ普及について
 - ② 障害者スポーツ参加者の負担軽減について
- 2 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ① 子育て世代へのワクチン接種について
 - ② 状況に応じた医療体制について
 - ③ 罹患した際の準備とその周知について
 - ④ 児童・生徒の学びに対する連携について
 - ⑤ ワクチン接種ができない幼少世代への医療体制について
- 3 県立高校再編整備における学びの特色づくりについて

1 障害者スポーツに対する普及・促進について

① 障害者スポーツ普及について

この度のパラリンピックでは、本県ゆかりの選手が活躍し、子どもたちに将来への夢と希望を与えてくれました。

県では、山口県障害者スポーツ協会と連携し、やまぐちパラアスリート育成ファンド事業や、競技団体への支援に取り組んでいます。競技団体では、選手の発掘や、障害者スポーツに興味を持ってもらうことに困っていると伺いました。

障害者スポーツには様々な競技があり、普及活動等の取り組みをされていますが、その取り組みは障害のある方のスポーツを通じた社会参加につながると思いい普及への取り組みを質問いたしました。

② 障害者スポーツ参加者の負担軽減について

車いすバスケットボール大会のお手伝いをした際、選手の方から、競技に使用する障害者スポーツの競技用具は高額であり、助成してもらえると嬉しいと伺いました。

競技専用の車いす等に対する助成をしていただければ、障害のある方にとって、スポーツの参加などをきっかけに、より明るく豊かな充実した生活を送ることができると思い質問いたしました。

2 新型コロナウイルス感染症への対応について

① 子育て世代へのワクチン接種について

ワクチン接種が不可能な12歳未満の子どもたちを育てる世代である20歳から40歳代への一刻も早いワクチン接種は、子どもたちを新型コロナウイルス感染症の危険から守る為急務です。その世代への接種率、接種が遅れている地域に対しての対策を質問いたしました。

② 状況に応じた医療体制について

山口県として、妊婦の方やハンディキャップを持たれた方に対し、どのような医療体制を準備しているのか、山口県の取り組みを質問いたしました。

③ 罹患した際の準備とその周知について

新型コロナウイルス感染症に罹患し、療

養施設に入る際、どのような準備がいるのかという情報は、県ホームページに開示していますが、県や市町の広報誌やフリーペーパーなどで開示して頂けることで、不安の解消につながるのではないかと思います。災害として位置づけ様々なことに取り組んでいるのが、新型コロナウイルス感染症対策であると思います。天災などには避難グッズの準備など、今では周知され意識付けが進んでいます。この度の感染症に対する準備への様々な情報をしっかりと周知することこそ、感染者数が増えている今こそ早急に取り組むべきだと思いついて、新型コロナウイルス感染症に対する入院等の準備品、その周知に対する取り組みを質問いたしました。

④ 児童・生徒の学びに対する連携について

小学校・中学校・高校の児童、生徒が罹患してしまった場合にも学びを続けられるマニュアル作りが急務です。市町の教育委員会と県教育委員会とが今以上に連携をすることに山口県で暮らしている全ての子どもたちが新型コロナウイルス感染症という災害禍でも平等な教育と権利を行使できると思い質問いたしました。

⑤ ワクチン接種ができない幼少世代への医療体制について

山口県の8月1日から23日の間における感染経路は、家庭内が35.7%と圧倒的な割合となっており、家庭内で感染する割合が高いという事は、ワクチン接種が可能な世代への感染拡大が危惧されます。

これから先は、幼少世代の医療が中心となるのではないかと、また、年齢的に、宿泊療養施設で加療・経過観察が出来ない場合の病院等の負担、病床利用率も高まると思っています。新型コロナウイルス感染症のワク

チン接種が出来ない、いわゆる幼少世代に罹患者が多くなった際の山口県としての取り組みはどのようにシミュレーションされているか質問いたしました。

A 本県では、小児の感染者が発生し、入院が必要な場合には、専門医療体制の整った小児救急拠点病院等で、治療できる体制を確保しているところです。

また、軽症、無症状である場合には、宿泊療養施設において、ツインルームの活用等により、保護者同伴で入所していただいているところです。

さらに、家庭の事情等により、宿泊療養施設での療養が難しい場合には、保健所による健康管理など、しっかりとサポート体制の下、自宅で療養していただくこととしており、感染拡大の局面においても、安心して療養できる体制を確保してまいります。と弘田健康福祉部長より答弁いただきました。

3 県立高校再編整備における学びの特色づくりについて

過疎化が進み、定員割れの続く熊本県高森町にある県立高森高校に「漫画科」が再来年開校するというニュースを聞きました。高森町では町営の寮を建設するなど、連携プロジェクトが動き出しており、高森高校校長は「生徒らは様々な職業を進路目標とすることができ、全国から入学希望者が来るのも夢ではない」とコメントしていました。この事例からも、学びに特色を持ち進路目標を持つことを地域活性につなげていく事は、過疎地域で生活している子どもたちに教育の不利を与えないことにもなると思えます。定員割れという現実もありますが工夫をすることで廃校などを回避できるのではと思いで質問いたしました。



新型コロナウイルスワクチン接種もすすみ、新規感染者も全国的に落ちてきた頃の議会となりました。

直前に行われた衆議院選挙も話題となり、岸田内閣総理大臣が所信表明演説内でその取り扱いに踏み込まれたマイナンバーカードについての質問、県民のため有益な取り組みである連携協定の在り方、山口県の重要な産業の一部である農業に関する取り組み方、災害を防ぐことも防災ですが、起こった際にスムーズに復旧活動が出来る事の重要性を提言させていただきました。

松浦多紋の一般質問

- 1 マイナンバーカード活用への取り組みについて
- 2 地域活性化包括連携協定について
- 3 農業振興について
 - ① 果樹農業振興について
 - ② 新規農業就業着促進事業の現状と今後の本県の農業振興について
- 4 nuovo(ノーボ)について

2 地域活性化包括連携協定について

平成20年7月から延べ13件の地域活性化包括連携協定を締結しています。結ばれている協定の内容を定期的に見直すことで、相手方にとっても、県はもちろん県民にとっても有益な協定になると思われました。

官民連携を増やすことができれば、県や全国の自治体が抱える諸問題に対し、柔軟な対応ができるのではないかと。例えば、通信速度のエリア拡大を加速させるための通信事業者との協定、ドローンによる竹林や道路、橋脚の管理、横断歩道における歩行者の安全確保のための協定、公園や学校等の遊具の安全点検のための協定など、山口県が更に発展するための協定を締結すべきと思ひ質問いたしました。

3 農業振興について

① 果樹農業振興について

江戸時代の長州藩においては、「米」「塩」「紙」の防長三白の生産を積極的に行う政策で、石高の向上を図り、特に三田尻は瀬戸内の塩の一大産地となるなど藩財政を支えました。

こうした歴史がある中、輸出も視野に入られて県の農業を強くして欲しい。防長三白を今の農業に当てはめて、昨年度に策定された山口県果樹農業振興計画を強固にしていくことこそ将来を見据えた取り組みとなります。

山口県の農業生産額を回復させる上で、園芸作物の中で比較的単価の高い果樹農業振興は、山口県における農業全般の復興に大



きく影響すると考え、果樹農業振興に対する県の考え方を質問いたしました。

② 新規農業就業着促進事業の現状と今後の本県の農業振興について

新規農業就業着促進事業を継続的に実行し、令和2年度までの過去5年間、毎年100人以上が新規に就農しています。

山口県農業試験場の移転により山口県立農業大学校との連携が深まり、農業振興は格段に向上することが期待でき、栽培技術の進歩と品質向上を背景に、新規農業就業者が出荷単価の高い果樹栽培に特化する意義は大きく、農業への定着に繋がるものと期待し質問いたしました。

4 nuovo(ノーボ)について

長野県に平時を楽しみ有事に備えるライフコミュニティパーク「nuovo:ノーボ」という施設があります。薄れゆく災害や防災への意識をどう高め、維持していくかという課題に「楽しむ」という視点から構想されたもので、漢字では農業の農に防災の防と書きます。

重機の操作方法の習得など災害時の支援活動中に現場で役に立つものをピックアップし、それらをnuovoに集約し、体験・習得できる施設として運営されています。本県の農業分野における問題として、荒廃農地は増える傾向にあり、現在9,400ha以上存在しています。

そこで、荒廃農地を活用し、災害が起こった際の備えとなる技術、農業体験などから安心・安全な食のあり方も学べる施設を作ることは、防災のみならず、荒廃農地の増加という課題を抱える本県の農業振興への有効な手法であり、積極的に取り組むべきと考え質問いたしました。

1 マイナンバーカード

活用への取り組みについて

デジタル社会推進のためにも切り離すことができないのがマイナンバーカードであり、デジタル社会に向けた二丁目一番地の取り組みはマイナンバーカードの普及です。

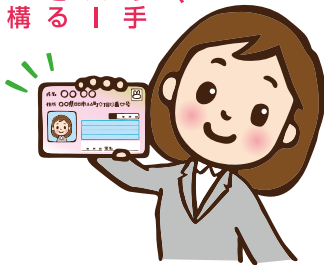
デジタル社会を推進していくためには、普及と活用が一体となった取り組みが必要と考えます。もっとカードが活用されるよう、県主導のもと市町と連携しての活用をどのように進めていくとすることか、山口県の所見を伺いました。

A これからのデジタル社会において、オンラインでの本人確認を安全・確実に行うための最も重要な基盤となるものです。

利活用の促進に向けた取り組みも、市町とともに着実に進めてまいりました。現在、国の自治体DX推進計画に示された、特に住民の利便性向上に資する行政手続きについては、県及び7市の延べ49手続で、カードを使った申請が可能となっているとこ

るです。

さらに、令和4年度末までには、全市町において、国が示した全ての手続きにマイナンバーカードが活用できるよう、県と市町で構成する連携会議のワーキンググループで検討を進めており、その早期実現に向けて、市町の取り組みを支援していくこととして



国においては、この度の経済対策に盛り込んだ第2弾のマイナポイントの付与などにより、カードの普及を一層進めるとされています。

県としては、こうした国の取り組みとしっかりと連携を図りながら、デジタル社会の実現に向け、市町とともに、引き続き、マイナンバーカードの普及と活用の一体的な促進に取り組んでまいります。と平屋総合企画部長より答弁いただきました。



選挙区外のため池ですが、のり面に巨大な穴が開いていましたので、先ずは調査を依頼。梅雨時期ではなく良かったです。



4月14日、文教警察委員会の委員として防府警察署華西中関交番の開所式に出席いたしました。バリアフリーの設計になっています。



市民の方から新橋のボルトに異変があると連絡を頂き、異変があるボルトを探しに。時間がかかりましたが無事発見。調査の結果10個のボルトが抜けていたことが判明しました。修復され今は耐震工事に取り掛かっているとのことでしたが、適切な管理をしていただき、腐食等防ぐために塗装も含め管理を土木建築委員会に要望いたしました。

5月3日、延期になっていた2021防府市成人式が、オンライン中継で挙行されました。20歳の実行委員会の皆さん、お疲れ様でした。



5月14日、2020東京オリンピックの聖火リレーのセレモニーが萩市で行われました。徹底した新型コロナウイルス感染症拡大防止を行い無事開催されました。前日からの公道を使ったリレーの中止や山口市でのセレモニーは無観客となりましたが、山口県内にもオリンピックの聖火が躍動しました。



合志県議会議員と新型コロナウイルスワクチン接種の在り方について情報交換と協議をいたしました。

令和3年 主な参加行事・活動報告

たくさんの出会いを
ありがとうございます



押しボタン式の信号機です。街路樹の適正な管理をしつかり行かないと信号機の機能が損なわれます。直ぐに対応して頂きました。

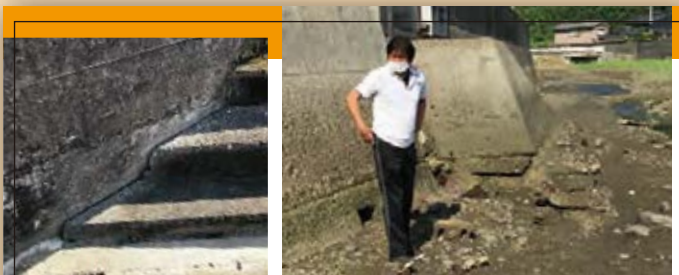
7月4日、コロナ禍で活動が制限されている、防府市内、小・中・高吹奏楽部の皆さんの久々の演奏会。実行委員会の皆さん、子どもたちの為にありがとうございました。



6月14日、第58回山口県防衛協会定期総会に出席いたしました。日本と我々を護ってくれている自衛隊の皆さまに、日々感謝です。



有害鳥獣対策の質問に備え、勉強会を行って頂きました。農業への被害はもちろん、SFTS(重症熱性血小板減少症候群)という感染症対策になります。



7月20、21日富海の漁港の堤防に段差が出来ているとご連絡いただき、和田市議とともに現地へ調査。湾内から確認すると多くの亀裂が原因の様子。県土木、市役所の皆さん、急な依頼にもかかわらず協力ありがとうございました。



2019年9月議会において、想定以上の災害への備えについて、県営高井住宅付近の剣川左岸の堤防ののり面の状況も例に出し質問した堤防と剣川の浚渫も終わり、当たり前を取り戻しました。見通しもよくなりました。この件でも県政に常に声を届ける必要性を実感いたしました。

防府天満宮の花神子参りに、お手廻り保存会「箱役」として20年以上参加。自衛隊の皆様や市内有志の方、防府青年会議所メンバーの皆様と楽しく活動しています。

県議会議事録は
こちらから→



松浦 多紋事務所 \ 皆さまの声をお聞かせください! /

〒747-0046 山口県防府市千日2-6-6
TEL 0835-25-2525
FAX 0835-23-7470
matsuura.tamon@gmail.com

フェイスブックを
されている方は
お気軽に
友達申請を
お願いします!

松浦 多紋
フェイスブックページ
facebook.com/tamon.matsuura



松浦 たもとみんなの会
フェイスブックページ
facebook.com/matsuura.tamon/



県議会議員 松浦 多紋の山口見聞録

県政報告紙

Vol.3

2021.3月発行



新型コロナウイルスとの闘い

日常化してしまった未曾有の自然災害に加え、新型コロナウイルス感染拡大による日常生活の崩壊に対し、その防止と生活再建に休むことなく従事されている方々へ感謝申し上げますとともに、一日も早い感染拡大の収束、そして、改めて知ることが出来た今までの日常生活を取り戻せることを祈念申し上げます。また、県議会議員として職をいただいた以上、“県民の皆さまの声をしっかり県政に届ける。”という信念を貫き、引き続き活動して参る所存です。

山口県の主なコロナ対策 ～がんばろう山口～

01 Stop the spread of infection

感染拡大防止

- 医療機関や、社会福祉施設、学校等へ消毒液等の購入や分離するための個室化改修への支援。
- 各業種への休業要請補償費用。
- PCR検査装置の増設による検査体制の強化や、病床の確保、療養のための宿泊施設の借り上げ。



4月臨時議会補正予算	46億6,800万円
6月定例議会補正予算	219億5,600万円
9月定例議会補正予算	83億5,500万円
11月定例議会補正予算	22億2,200万円

02 Stabilize our life

県民生活の安定

- 学校の臨時休校に伴い家庭での学びの機会を確保するためのタブレット端末等の貸与。リモートワーク導入に必要な環境整備。
- やまぐち高校生2020メモリアルカップ・メモリアル文化発表会開催や、こども食堂での新しい生活様式導入補助。
- 季節性インフルエンザ予防接種費用補助や修学旅行キャンセル料への支援。

4月臨時議会補正予算	11億 300万円
6月定例議会補正予算	72億5,800万円
9月定例議会補正予算	20億5,600万円
11月定例議会補正予算	9億4,200万円

03 Support the economy

県内経済の下支え

- 県内事業者の事業活動の維持・発展を支援するための、金融支援や融資制度の拡充、各種キャンペーンによる消費需要の喚起策実施。
- 観光需要の喚起、県産品消費需要の喚起を促す対策事業の実施。



4月臨時議会補正予算	628億6,900万円
6月定例議会補正予算	1,839億9,600万円
9月定例議会補正予算	7億8,400万円

地域外来・検査センター

県では、かかりつけ医等の診断に基づき検体採取を行う「地域外来・検査センター」を、県内14カ所(14市町)に設置しています。

防府地区

防府市休日診療所敷地内 防府市鞠生町12番1号 TEL：0835-24-2161

新型コロナウイルス感染の疑いがある場合

山口県受診・相談センター(毎日24時間対応)
TEL：#7700 ※IP電話からは 083-902-2510

一般的な相談

山口県新型コロナウイルス感染症専用相談ダイヤル
TEL：083-902-2510(毎日24時間対応)
※聴覚に障害のある方など、電話でのご相談が難しい方
FAX：083-902-2568(毎日24時間受付)

県庁コロナ関連サイトはこちらから→



ワクチン接種 専門相談センター

TEL：083-902-2277(8時30分～17時30分、土日・祝日も実施)

※ワクチンの副反応等に関するご相談、副反応発生時の受診に関するアドバイス、ワクチンの有効性・安全性に関する情報提供



2020年1月15日。
新型コロナウイルス感染症が
日本で初めて確認されて一年あまりが経過しました。
「私が県議としてやるべきことは何か」を
常に考え、念頭に置き、
山口県のために行動してまいります。



- 1 人と動物の安心なくらしづくりについて
 - ①野犬対策について
 - ②動物由来感染症予防対策について
- 2 成年年齢引き下げに伴う学校での対応について
- 3 6次産業化・農商工連携の推進について
- 4 安心・安全な道づくりのための財源確保について

新型コロナウイルス感染症が日本で確認された日が2020年1月15日。中国武漢市から邦人を帰国させるためのチャーター便第一便が1月29日に到着。2月1日新型コロナウイルス感染症は感染症法において指定感染症に指定されました。以降国内での感染者数も増え始め、山口県におきましては、議会中の3月3日発症された方が3月4日に発表されました。そのような状況の中、一般質問登壇者数の調整を行い開催された議会です。

1 人と動物の安心なくらしづくりについて

① 野犬対策について

2019年11月議会において、野犬が問題となっている地域が限られているとの答えをいただきましたが、各保健所に連絡し、平成30年度、29年度の地域ごとの野犬への諸現状の聞き取りを行いました。その結果、地域は限られてはいなかったという確信を得ました。さらに自治会連合会さまからの強い要望、PTA会長として子どもたちの登下校や日々の生活時の安全確保を望む強い思いから今一度、人と動物の安心な暮らしづくり推進事業への取り組みについて質問いたしました。

令和2年度予算にて防府地域の対策強化を目的に捕獲機の追加配備が決定しました！

② 動物由来感染症予防対策について

新型コロナウイルス感染拡大が始まった当初、ペットにも感染したという報道を耳にしました。動物由来感染症予防の現状の

取り組みと今後の対策について質問いたしました。

2 成年年齢引き下げに伴う学校での対応について

2022年4月1日、成年年齢が現行の20歳から18歳に引き下げられます。民法の定める成年年齢は、単独で契約を締結することができる年齢という意味と、親権に服することがなくなる年齢という意味を持ちます。

高校に入学してから成年について学ぶのが、中学生のころから学ぶことになるのか、学ぶ時間、学び始めるタイミングによって、その準備にはかなりの違いが出てくることと思います。成年年齢の引き下げに伴い、成人としての責任や心構えについて、学校でしっかりと学ぶ機会が必要だと思いい、質問いたしました。



3 6次産業化・農商工連携の推進について

県内一次産業が市場の縮小ばかりでなく販売価格の下落まで伴う場合があり、生産者の所得を確保し、安定して生産を続けていくことは、県にとって急務の課題です。

消費者のニーズを捉え、農林水産物を加工し、付加価値を高めて戦略的に販売することで、農林水産業に携わる方の所得向上、さらには持続的な発展も視野に入れることが可能になります。

県として、6次産業化・農商工連携の推進に向け、これまでどのように取り組まれてきたか、どのような成果を上げてこられたか、また、今後、どのように取り組まれるのか質問いたしました。

本県農林水産業が持続的に発展していくためには、担い手の所得を向上し、地域の雇用創出にもつながる6次産業化・農商工連携の取り組みを推進することが重要と考えられ、全国に先駆けて、サポートセンターを設置し、相談から商品開発、販路開拓まで一貫した支援に取り組み、300を超える新商品の開発や道の駅との取引の拡大など着実に成果が上がっています。

私は、こうした成果の上に立ち、一層取り組を強化していく考えであり、今後、経営感覚に優れた人材の育成と消費者ニーズを捉えた商品開発に重点的に取り組むこととしています。関係団体等と緊密に連携しながら、農林漁業者の所得向上と経営発展につながる6次産業化・農商工連携の取り組みを推進してまいります。と村岡知事からご答弁いただきました。↓詳しくは議会議事録へ

4 安心・安全な道づくりのための財源確保について

車道外側線がしっかり引かれている道路の維持管理が出来れば、県民の皆さまの安全や通学中の子どもたちの命を守ることにつながると強く思います。

既に県が展開している、「つながらる。やまぐち応援寄附金」の選べる使い道の中には非入れて頂くなど、今後の車道外側線の維持管理のために財源を確保する方法はないか質問いたしました。



1 反転攻勢への挑戦について

- 1 反転攻勢への挑戦について
 - ①教育について
 - ②介護・福祉について
 - ③情報通信インフラについて
- 2 県有施設におけるウイルス対策について
- 3 身近な新型コロナウイルス感染拡大防止について
 - ①県有施設に係る水道蛇口のレバー式等への改修について
 - ②県立学校施設の感染拡大防止対策について
- 4 コロナ禍における水資源について

4月臨時議会におきまして約686億円の新型コロナウイルス感染症対策の補正予算が可決され、感染拡大の防止、県民生活の安定、県内経済の下支えに対する取り組みがスタートしました。

しかし新型コロナウイルス感染症の人体への被害はまだまだ手探りの状態なうえ、4月から5月にかけて発出された緊急事態宣言による経済等への被害は想像を絶するものとなりました。

6月議会では感染症対策の補正予算約2132億円を審議させていただきました。

私は、Withコロナ、Afterコロナへの取り組みを、反転攻勢への挑戦と考え質問を組み立て7月1日に登壇させていただきました。また、すぐにでも取り組むべき感染拡大防止の提示をし、県に対して質問をさせていただきました。

①教育について

補正予算で組まれた非常勤職員給与費や学校業務支援員配置事業は、子どもたちが充実した学習ができるためのベースとなる取り組みであることから、今年度のみではなく持続してこそ生きてくるという思いから質問いたしました。

②介護・福祉について

感染リスクがある中で、サービスの提供を継続している介護職員に感謝する慰労金の支給をお願いしたい。また、在宅サービスや施設居住系サービスなど、それぞれの環境に応じた徹底した感染症対策を進めていただきたい。その取り組みこそがコロナを踏まえ、介護人材の安定的な確保や定着につながるという思いから質問いたしました。

感染防止対策を講じながら、業務に従事していただいた職員の皆様に感謝を申し上げ

げるとともに、これまでの御労苦に対して、慰労金を支給する。

コロナ禍において介護人材の安定的な確保・定着を図っていくためには、介護職員が安全に働くことのできる就業環境を整えていくことが、極めて重要と考えている。

県では介護施設における徹底した感染防止の体制づくりを支援し、安全な就業環境の整備に取り組んでいる。また、福祉人材センターが実施する取り組みなどで、介護施設等の感染症対策を十分に説明し、安心して就職を目指していただけるようPRに努め、これから参入する方も含め、介護現場で働く方々が今後も意欲を持って働ける環境を整備し、介護人材の確保・定着に積極的に取り組んでまいります。

と村岡知事よりご答弁いただきました。↓詳しくは議会議事録へ



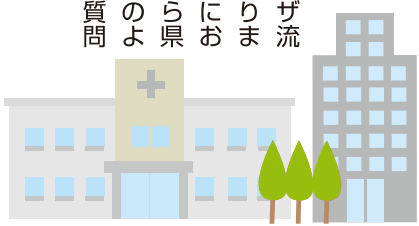
③情報通信インフラについて

中山間地域や過疎地域の振興、企業誘致の切り札にするためにも、県内の光ファイバー整備を年度内に限りなく100%に近いレベルで達成する必要があります。総務省は、2021年度整備完了に向け、最大9割補助し、後押しすることが報じられています。教育ICT推進等に欠かすことのできない情報通信インフラの整備の必要性を感じ質問いたしました。

2 県有施設におけるウイルス対策について

ウイルス対策について

紫外線のUVCを上部に照射し、空气中の浮遊菌を殺菌し空気環境対策ができる紫外線照射装置があります。この装置は、岩手県立中部病院をはじめとする様々な医療機関等に設置されております。コロナウイルスの第2波、第3波と季節性インフルエンザ流行が起こる可能性があります。山口県管理の施設において、ウイルス感染から県民の命を守るため、どのように取り組まれるのか質問いたしました。



3 身近な新型コロナウイルス感染拡大防止について

感染拡大防止について

- ①県有施設に係る水道蛇口のレバー式等への改修について
- ②県立学校施設の感染拡大防止対策について

県有施設の蛇口、県立の学校の蛇口等は、県民はもちろん、不特定多数の人が利用する施設のため、ハンドル式からレバー式や自動水栓型に取り換えるだけでも、さらなる感染拡大防止、県民の命を守ることにつながるという思いから質問いたしました。

↓9月補正予算にて、**県有施設、特別支援学校、県立高等学校等における洗面蛇口の自動水栓化が決定しました！**



4 コロナ禍における水資源について

水資源について

例年8月といえば水が多く利用される時期だと思えます。感染拡大防止の取り組みが続けば続くほど、手洗いによる水の利用も増え、限りある資源である水の不足が心配になりました。

過去に取水制限になった自治体はもちろん、取水制限を経験したことがない自治体も、水不足に対する備えは必要だと思ひ、山口県内の水道事業における水不足への対策と取り組みについて質問いたしました。

新型コロナ感染予防のためだけの施策では
 本当の豊かさにはつながりません。
 山口県の未来に希望が持てるよう
 経済の下支えはもちろん、
 今だからこそできる反転攻勢に
 積極的に取り組みたいと考えます。



- 1 未然に防げる災害対策について
- 2 介護職の方の確保について
- 3 鳥獣被害防止対策について
- 4 山陽本線の増便について
- 5 フェリー運航誘致について
- 6 山口県立総合医療センターへの救急搬送について

山口県全ての皆さまへの、新型コロナウイルス感染症対策としての「感染拡大の防止」。季節性インフルエンザを回避するための「県民生活の安定」。感染症の影響による打撃を受けた「県内経済の下支え」や「消費需要の喚起」。感染症で起こり始めている新しい生活スタイルへの「社会変革の推進」。そして令和2年7月豪雨災害対策として河川改修事業や砂防事業等実施のための補正予算を審議する議会となりました。

私は9月25日に登壇させていただき、コロナ禍ではありますが、災害に対する質問や、私たちの暮らしの中で命に直結する救急医療への観点から、山口県立総合医療センターへの救急搬送が1分でも1秒でも短縮することが可能になればとの強い思いから道路整備についても一般質問させていただきました。

1 未然に防げる災害対策について

令和2年6月2日、小野奈美地区の方から奈美川に架かる橋の桁下に土砂が堆積し大雨の際は不安とご相談いただき、現地での状況を確認し、土木事務所に出向きました。

事前対策が出来る事業に対して積極的に対策をすることこそ、県民が求める安心・安全につながるのではないかと、その思いから質問いたしました。



現地まで赴きました。「なるほど、橋の下には土砂が堆積しています!」

2 介護職の方の確保について

厚生労働省の介護職員処遇改善加算に県独自の補助を行うことでの、介護職員の更なる定着につながるのではとの思い。そして、核家族化が進んでしまった環境でも年配者と接する機会を得ることで年配者を敬う心を育て、介護職が尊い仕事であると周知・認識してもらおうことが出来るのではとの思いで質問いたしました。

3 鳥獣被害防止対策について

農作物の鳥獣被害は、農家のモチベーションを削ぐだけでなく、平常時に子どもや高齢者が被害に遭う恐れもあります。また近年、特定外来生物であるアライグマやヌートリアによる農作物への被害が実際に起こったと耳にします。

現状行っている特定外来生物への鳥獣被害防止対策の強化の新たな技術の開発・実証・進捗状況を質問し、併せて情報提供等被害軽減のための事前対策を質問いたしました。



4 山陽本線の増便について

交流人口の増加につながり、通勤通学といった県民生活の向上のためにも現状の山陽本線のダイヤに対し、接続等を考慮し増便の働きかけをすることが必要との思いから質問させていただきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、利用者が大幅に減少したところであり、利用が徐々に回復してきている現在においても、なお厳しい状況に置かれている。現下の状況を踏まえれば、直ちに増便を実現することは容易ではないと認識しています。

5 フェリー運航誘致について

が、在来線の利便性の向上に向けて、関係市町と連携しながら、引き続きJRに働きかけを行ってまいります。と村岡知事よりご答弁いただきました。

既に大型船舶の入港が可能となるように港湾の整備を進めている山口県にとって、山口県を物流拠点にするためにもフェリー誘致・運航に利用しない手はないと思います。

物流拠点山口県として、頻発している災害時にも強みを発揮できる長距離フェリーの誘致は有益な事業になると思います、質問いたしました。

6 山口県立総合医療センターへの救急搬送について

防府市南西部や西部等からの山口県立総合医療センターへの救急搬送ルートは、国道2号を周南方面へ、一旦県立総合医療センターを通り過ぎ迂回する形で搬送されています。救急搬送ルートは国道2号の玉祖神社入り口交差点から次の交差点までの間に県立総合医療センターへ向かう道路の整備を行うことが出来れば、また、県道348号を国道2号に接続することで、搬送時間の短縮につながり、より多くの県民の命を救う事が可能となります。

県立総合医療センターへ救急搬送を迂回することなく、一分でも一秒でも早く到着可能なルート確保の必要性について質問いたしました。

↓9月議会終了後10月2日、池田防府市長からも同地区への防災広場整備構想や物流機能の効率化にも繋がりが有り、総合医療センターへの道路整備の要望をされ、後押しをしていただいたと認識しております。



1 更なる

反転攻勢への挑戦について

① 県内経済下支えにかかる 取り組みについて

回復し始めた経済環境を振り出しに戻すことなく推移させることが課題であると感じています。感染拡大の予見も困難な中ではありますが、引き続き、県内経済の下支えとなる政策の実施をお願いし、今後どのような取り組みを県内経済維持のために行っていくのか質問いたしました。

今後の動向を注視しつつ、必要に応じた支援を迅速に実施し、県内経済の維持に努める。と村岡知事からご答弁いただきました。

② 県の財政状況について

(一) 県財政の見通しについて

この度のコロナウイルス感染拡大予防・対策のため、山口県では基金の取崩し等を行い幾度となく補正の予算を組んで取り組みを行いました。山口県では政府に対し、

1 更なる反転攻勢への挑戦について

- ① 県内経済下支えにかかる取り組みについて
- ② 県の財政状況について
- ③ 誹謗中傷から守る取り組みについて
- ④ 空き家対策について

2 やまぐちFree Wi-Fiについて

4月臨時議会以降、議会ごとに新型コロナウイルス感染症対策として補正予算が生まれ、「感染拡大の防止」「県民生活の安定」「経済の下支え」として様々な取り組みが行われてきました。その全ての取り組みは、私たちの命と生活、経済に対して欠かすことのできないものですが、財政の厳しい山口県において新型コロナウイルス感染症は計り知れない爪痕を残し、今なおその爪を深く食い込ませている状況だと思います。

令和3年以降の山口県の財政状況を危惧し現状の財政状況を質問し、感染症に対しての更なる取り組み、そしてピンチ(コロナ禍)をチャンスに変える取り組みについて質問させていただきました。

(二) 山口県屋外広告物条例の改正について

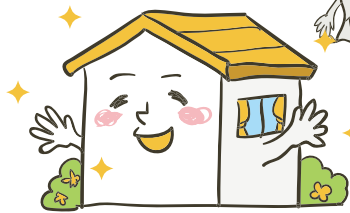
コロナの影響による経済対策や山口県の財政を考慮していくうえで少しでも財源を多く確保する必要があると考えています。山口県屋外広告物条例を改正し、広告収入等から山口県への歳入を増やす取り組みは出来ないのか質問いたしました。

③ 誹謗中傷から守る 取り組みについて

コロナウイルスに感染したくて感染してしまう人は誰一人としていらっしやいせん。不注意で感染してしまつことはあるかもしれませんが、仕事等での感染も起こると思います。罹患者が誹謗中傷されない、誹謗中傷を抑えていくための対策を県としてどのように取り組んできたのか、また今後どのように取り組んでいくのか質問いたしました。

④ 空き家対策について

コロナ禍で、社会生活の変化が確実に起きています。県の課題でもある空き家対策を進めるため、山口県の恵まれた自然環境も活かし、テレワークの活用などコロナ禍を



逆手に取った取り組みを組み合わせることが有効であると思い、質問いたしました。

2 やまぐちFree Wi-Fiについて



やまぐちFree Wi-Fiは、2020年5月から、使用時間の延長などサービスの向上が図られ、10月末現在、949箇所ものポイントで使用が可能です。

① 山口県の売りとりして欠かせない取り組みの、その在り方、設置ポイント拡大の目標を質問いたしました。

② また、外国人観光客にも人気の高い、海水浴場などの海岸をはじめとした絶景スポットやキャンプ場等への設置が遅れておりますが、こうした場所への設置も急務だと思ひ、質問いたしました。

3 災害廃棄物について

災害廃棄物は一般廃棄物であるため、産業廃棄物処理施設では処分できず、処理に時間がかかり、安全衛生面で県民に危険を及ぼす可能性が否定できません。

廃棄物処分はルールを遵守することが大切ですが、災害廃棄物に対しての定義の見直しや、官民がスムーズに連携できる体制の構築が必要だと思ひ、県の取り組みを質問いたしました。

01.

成年年齢について質問しました。令和3年の成人式は5月3日(祝)に延期となりました。



02.

エネルギー関連県内視察でお邪魔いたしました。AWEP山口さまが運転されている、バイオマス・石炭混燃発電所です。

03.

6次産業化・農商工連携について質問しました。県立農業大学の日本酒ブランド『六三一』発表会です。ぶち美味かったです！



04.

空き家対策について質問しました。野島の新しい宿泊施設ViDeNさんです。古民家を改修されオープンいたしました。



05.

はじめての県政報告会。緊張しましたが、多くの方にご来場いただき、取り組んでいる仕事を聞いていただきました。

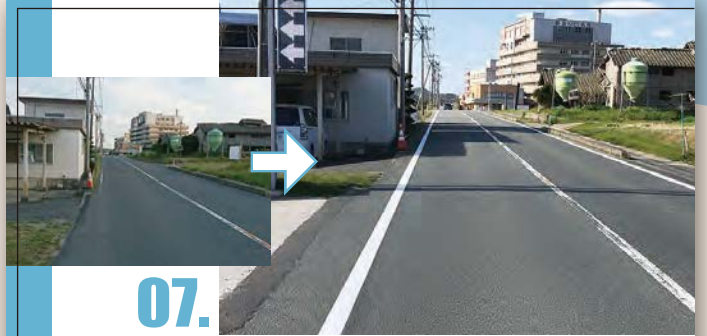


06.

お針祭りにお邪魔しました。

07.

2019年6月議会において質問した外側線の改修が行われました。県政に常に声を届ける必要性を実感致しました。



令和2年 主な参加行事・活動報告

たくさんのお会いを
ありがとうございます

08.

ほうふ港まつり、安全祈願祭。



09.

防府市公会堂リニューアル記念式典&吹奏楽コンサート。

10.

R2.6.2
R2.7.24
ご相談いただいた、奈美川の橋の桁下の状況。河川整備の必要性を訴えます。



11.



山口県の新たな活力創出推進特別委員会に参加。山口県の活力を高め、県民の未来への希望や期待に応えるようにするための政策提言を行います。

12.

文教警察委員会の県内視察。県立柳井商工高等学校で柳井織を体験。防府商工とも連携しています。



13.

決算特別委員会の県内視察で県警指令室。一秒でも早く現場へ向かいます。令和元年度の山口県の取り組みについて勉強できました。



14.

2019年9月議会において、想定以上の災害への備えについて、県営高井住宅付近の剣川左岸の堤防のり面の状況も例に出し質問した堤防と剣川の浚渫が始まりました。この件でも県政に常に声を届ける必要性を実感いたしました。



防府天満宮の花神子参りに、お手廻り保存会「箱役」として20年以上参加。自衛隊の皆様や市内有志の方、防府青年会議所メンバーの皆様と楽しく活動しています。



松浦 多紋事務所 \ 皆さまの声をお聞かせください! /

〒747-0046 山口県防府市千日2-6-6

TEL 0835-25-2525

FAX 0835-23-7470

matsuura.tamon@gmail.com

フェイスブックを
されている方は
お気軽に
友達申請を
お願いします!

松浦 多紋
フェイスブックページ
facebook.com/tamon.matsuura



松浦 たもとみんなの会
フェイスブックページ
facebook.com/matsuura.tamon/



松浦 多紋の山口見聞録

県政報告紙

Vol.2

2020.1月発行

2019年、立て続けに発生した自然災害により亡くなられました方々のご冥福をお祈りするとともに、被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。

また、復旧にご尽力いただいています皆様へ感謝申し上げます。

防ぐことができる災害も多々あります。

「安心して生活できる山口県」にするため、しっかり訴えてまいります。

県外視察

2019年
8月28日～30日
宮城県・山形県

8月28日から30日の三日間、山口県議会文教警察委員会県外視察にて東北の地で勉強して参りました。

初日は宮城県立多賀城高等学校防災科学科へ。平成23年に発生した東日本大震災を教訓に、防災教育推進のための体制整備の必要性から平成28年全国二例目の防災系専門学科としてスタートしました。震災の伝承、国際交流、地域連携を学び、災害を科学的視点から捉えた専門的な学習



宮城県立多賀城高等学校にて防災科学課



宮城県立多賀城高等学校にて

を終えた卒業生が巣立つていかれました。二日目午前中は宮城県内。宮城県警の方から東日本大震災発災後の警察の活動状況



荒浜小学校訪問

されました。治安もしながら、地上での捜索もしながら、そして何よりつらい検視しながらの活動だったとのこと。そして、津波による浸水から300名以上の命を守った仙台市立荒浜小学校跡地に。地域の方や小学生が校舎上層階に避難し、屋上からヘリコプターで救助されました。災害前に耐震工事による校舎の改築が行われ難を逃れたそうです。

二日目の午後は山形県。山形県庁議会棟にて山形県教育委員会の方から、中高連携プログラム事業、『世界に羽ばたけ！出羽さんさんプロジェクト』



荒浜小学校。耐震工事による校舎の補強のお陰で津波に耐えることが出来たそうです。



宮城県警のレクチャー資料

を伺いました。大規模（広域）災害時におけるもつとも有効的な救助方法はヘリコプターによる救助だったそうです。警察関係、消防関係、自衛隊ヘリコプターの出動の中で警察のヘリは9機、延べ180機以上の救助活動で262名の救助を

ジェクト』の事業説明を受けました。新学習指導要領の外国語（英語）の強化を小中高の児童、生徒が学校や学年の枠を超えて行き来交流し、学習するという取組について説明を受けました。さらに議会棟の見学もさせていただきました。



みやぎの志教育

三日目は宮城県に戻り、宮城県教育委員会の方から、子どもたちに高い志と思いやりの心を持たせ、夢や志の実現へ向けて自ら学び、ふるさと宮城に誇りを持ち、我が国や郷土の発展を支える人間を育む

ことを目的にした『みやぎの志教育』の事業説明を受けました。小・中・高の連携の例として、夏休みに高校生が小・中学生の学習を支援する交流活動や、地域の防災活動への参加などの取組がされています。両県の教育委員会の取り組みは、小・中・高等学校の児童生徒間の交流、学校と地域が連携した取組が中心となっていました。この県外視察を早速9月定例議会に反映し一般質問させていただきます。



出羽さんさんプロジェクトを質問させていただきました。

9月定例議会

9月18日、
10月4日まで

- ① 災害時の救助体制について
- ② 志を育む教育体制について
- ③ 想定以上の災害への備えについて
- ④ 人と動物の安心な暮らしについて

5月臨時議会終了後6月定例議会から、チャンスを取れる以上、欠かさず一般質問をすることが、県議会議員として私が頂戴したお役目だと信じ、今できることを実行いたしました。皆さまの声をしっかりと県政に届けるために、私が頂いた皆さまからの尊い想いです。

9月議会でも、選挙で訴えてきました私たちの、日本の宝である子どもたちへの教育について、そして県外視察で勉強させていただいた災害時の救助並びに救助連携について、子どもたちはもちろん私たち大人も危険にさらされている野犬問題について、本当に起こってしまった豪雨を伴った台風を例に挙げた想定以上の災害への備えについて質問させていただきました。



① 災害時の救助体制について

(1) 関連機関の連携について

質問

地球温暖化が進み、年々豪雨の頻度と被害が拡大・広域化していくのではないかとこの点も踏まえ、大規模災害時に迅速で的確な救助活動を行うためには、警察・消防・自衛隊など関係機関との連携体制を充実・強化していくことが必要と考えますが、それに向けて、県ではどのような取組を進めているのかお伺い致します。

回答

防災関係機関との連携がますます重要となっております。村岡県知事
このため、「やまぐち維新プロジェクト」を掲げ、これら防災関係機関との一層

の連携強化に取り組んでいます。

具体的には、毎年実施する山口県総合防災訓練において、消防・警察・自衛隊等と一体となつて、大雨や大規模な地震による被害を想定した訓練に取り組み、ヘリコプターと地上部隊との連携も含め、災害現場における救助・救出活動の手順等の確認や習熟を図っています。また、「中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練」や「中国地区DMAT連絡協議会実働訓練」など、広域での災害対応を想定した訓練にも参加し、近隣の防災関係機関との連携強化にも取り組んでいるところです。

私は、県民の命を守ることが何よりも重要との認識の下、災害発生時に円滑な救助・救出活動を遂行できるよう、引き続き、市町や防災関係機関との連携体制を充実・強化してまいります。

(2) 大規模災害時の米軍との連携について

質問

山口県には米軍岩国基地という配備機数で極東最大級の基地があります。県内の各方面にとって大変有益な基地であり、日米友好の扇の二つでもあると考えています。

① 私は、警察・消防・自衛隊の連携の中に入ってもらえる人命救助が可能な大型ヘリの部隊に常駐してもらうことはできないかという思いがあります。騒音というデメリットもありますが、広域災害が発生した際、私たち、県民、国民の命を守ってもらえるという大きなメリットもあると思います。その事が、岩国に基地があることへの感謝、相互理解へつながると思いますが、県のご所見をお伺い致します。

② 警察、消防、自衛隊の救出救助活動の連携に、米軍にも参加してもらい、訓練への参加要請や救助要請ができる環境づくりができないでしょうか。未曾有の、経験したことがない、50年に一度のといった災害に向けて準備は必要ですが、県のご所見をお伺い致します。

回答

まず、岩国基地への大型ヘリ部隊の常駐については、米軍基地への部隊配備については、外交・防衛政策に責任を有する国において、その必要性を判断し、関係自治体に提示される事項であり、県から、新たな部隊の常駐を求める考えはありません。

次に、警察、消防、自衛隊の救出救助活動の連携に米軍が参加する環境づくりについては、平成27年に日米政府間で了承された

「日米防衛協力のための指針」に基づいて行われることとされていますので、基地を抱える都道府県で構成する涉外知事会において、国レベルの連絡調整の枠組みに加え、自治体から国・米軍への支援要請の手順の明確化などを、既に国に要望しているところです。

(3) ヘリポートについて

質問

ヘリコプターが救助してきた方たちを安全に避難させるためには、しっかりと整備されたヘリポートが必要です。

平成30年12月17日現在、県内には407か所の離着陸場があります。離着陸場のその後の増減状況と安全運用に向けた適切な維持管理の方策について、ご所見をお伺い致します。

回答

ヘリコプターが離着陸できる場所を県内にできるだけ多く確保する必要があります。必要な要件を満たす学校のグラウンドや河川敷などを離着陸場に指定し、その確保に努めてまいりました。その結果、県内の離着陸場の数は、現在409か所となり、お示しの昨年12月時点からも、2か所増加しています。

なお、離着陸場については、それぞれの施設管理者によって維持管理されており、安全な運用に向けては、現地の消防がヘリコプターの離着陸時に立ち入り禁止措置を講じるほか、事故防止の観点から、県が離着陸場周辺の状況等について、定期的に確認を行っているところです。



②志を育む教育体制について

(1)コミュニティ・スクールについて

質問

全ての市町立小中学校にコミュニティ・スクールを導入している本県において、これまで実施してきたコミュニティ・スクールの取組を踏まえた、今後の取組の充実についてお伺い致します。

回答

繁吉副教育長

本県においては、来年4月に全国に先駆けて公立の小・中・高・総合支援学校が全てコミュニティ・スクールになることから、今後、その仕組みを活用して校種間の連携をさらに進めるとともに、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの夢や志を育み、郷土への誇りと愛着を育てる取組の充実に努めてまいります。

(2)県立学校における学科編成について

質問

高校進学の際、将来の自分に対し、目的をもって進学する専門的な学科が、通学可能な場所が必要です。山口県では、人口減少が進んでいます。将来の自分をデザインできるステージを準備することが、県内企業の担い手不足や人口減少に歯止めをかける手段となると思います。地域間でバランスのとれた学科編成や、建築土木系学科の県央エリアでの設置が早急に必要であると考えますが、今後の県立高校における学科編成等、県教委の方針をお伺い致します。

回答

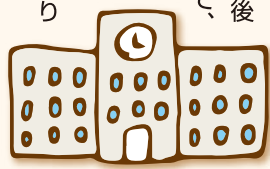
繁吉副教育長

人口減少の急速な進行や技術革新の進展など、教育を取り巻く環境が大きく変化する中、本県では、「県立高校将来構想」に基づき、

学校・学科の再編整備等に取り組んでいるところです。

お示しの建築・土木系学科については、現在、5つの高校の工業科に設置しており、県央エリアの生徒も、周南地域等の高校に進学し、建築や土木に関する学習を行っています。また、山口農業高校においても、土木系の環境科学科を設置しているところであり、地元にある建築・土木系の企業に就職している生徒もいることから、現段階では、建築・土木系の学科を新たに設置することは考えていません。

県教委といたしましては、今後とも、全県的な視点に立って、中学生の志願状況や高校卒業後の進路動向、地域の特性等を総合的に勘案しながら、各高校の学科の編成に取り組んでまいります。



③想定以上の災害への備えについて

質問

佐波川で、堤防決壊の恐れがあることを想定して水防演習が行われました。整備されている堤防でも想定以上の雨量により、決壊や氾濫が起きている可能性があります。

オーバーフローは手の出しようがありませんが、決壊に関しては前もってメンテナンスが可能だと私は思います。

河川の堤防ののり面がしっかり管理されている場所もあれば、防府市大崎の剣川の左岸のように、竹林化して危険な場所もあります。

前線を伴った台風が来たら、風で木や竹が揺られその根でのり面を緩め、増水した急流が、のり面を削り取ってしまうことも起

こるかもしれません。災いを防ぐことが、災害を最小化する、災害を起こさない手段であるならば早急に対策をすべきだと考えます。河川災害の発生を未然に防止し県民の命、財産を守るには、新たな公共インフラの整備予算よりも維持管理予算へ重点配分し、河川の堤防やのり面などの維持管理を充実させるべきと考えますが、今後県としてどのように取り組まれるのか、お伺い致します。

回答

森若土木建築部長

昨年（平成30年）の7月豪雨災害など、全国的にも大規模な災害が頻発しており、こうした災害を未然に防止するためには、河川改修を計画的に実施することも重要であり、河川を適正に維持管理することも重要であると考えています。このため、河川の維持管理については、定期的に実施している河川巡視の点検結果等を踏まえ、治水上支障のある箇所等について、河川内の立木伐採や浚渫などを効果的、効率的に実施し、良好な状態に維持することで治水機能の保持に努めているところです。県としては、引き続き、県民の安心・安全の確保のため、必要な予算を確保した上で、河川の適切な維持管理に取り組んでまいります。

④人と動物の安心な生活について

質問

防府市の小学校で、登下校中の子ども達が野犬に追いかけられたという情報がありました。

子どもが逃げ場を道路に求め、そこに車でも突っ込んできたら大惨事となります。また、散歩中にベットの犬が野犬に襲われ、飼主も咬まれそうになったことも聞きました。知人に起きた事件では、野犬に家畜を咬み殺さ

れています。

7月4日、「周南地域の野犬問題に関する連絡協議会」が発足し、知事からは「協議会を通じ問題を解決し県民が安心して暮らせる社会を創る」とのことです。野犬問題は周南地区に限らず県内他地域でも起きており、県民に「身近な問題のひとつだと思いますが、県では野犬対策にどのように取り組まれているのかお伺い致します。

また、飼育放棄や無責任な餌やりに対して県民の安全な生活を守るための条例を県主導のもとに作ることはできないか、あわせてお伺い致します。

回答

西田環境生活部長

野犬問題は、心ない飼主が飼犬を遺棄し、さらに、むやみな餌やりなどにより、特定の地域に野犬が住みついて発生しており、地域住民に大きな不安を与えています。

このため、県では、住民への危害防止の観点から、市町等と連携しながら、捕獲などの対策を進めており、特に、今年度は、野犬による被害が多発している、周南地域を重点として取組を強化しているところです。

また、捕獲した野犬については、愛護団体と連携し、譲渡を促進するとともに、飼主に対しては、毎年9月、10月の「動物の飼い方マナーアップ強化期間」を中心に、遺棄防止等の適正飼養の啓発を行っています。県としては、引き続き、県民が安心・安全に暮らしているよう、野犬対策に取り組んでまいります。

また、お尋ねの飼育放棄や無責任な餌やりに関する条例については、県内では、野犬が問題となっている地域が限られていることや、飼育放棄については、既に法規制があることなどから、県において、制定することとは考えていません。

11月定例議会

11月27日、
12月13日まで

- ① 想定以上の災害からの教訓について
- ② 安心・安全な道づくりについて
- ③ 自然を活かした観光振興について
- ④ 人と動物の安心な暮らしについて

9月定例議会にて『想定以上の災害の備えについて』を9月26日一般質問にて質問させていただきました。そのわずか2週間後10月12日台風19号が関東を襲い甚大な被害を広域に与えました。また、6月定例議会にて質問させていただいた『通学路の安安全対策について』での信号機設置や標識、『安心・安全な道づくりについて』での道路の外側線、9月定例議会でも質問させていただいた『人と動物の安心な暮らしづくりについて』での野犬対策におきましては、11月22日自治会連合会さまとの情報交換会で山口県に陳情・要望された内容と合致いたしましたので、改めて質問させていただきます。皆さまの声をしっかりと県政に届けることを改めて肝に銘じました。11月議会ではその思いを胸に質問させていただきます。



① 想定以上の災害からの教訓について

(1) 河川の維持管理について

質問
河川の護岸補修・浚渫の予算は、県全体の予算に対して、0.24%と県民の安心安全を確保するには少し寂しい数値だと思います。台風19号の被害などを踏まえ、県民の命や生活を守るため、来年度以降、河川を適切に維持管理するための本当に必要な予算を確保すべきだと思いますが、県のご所見をお伺い致します。

回答
森若土木建築部長
まず、想定以上の災害からの教訓についてのお尋ねのうち、河川の維持管理についてお答えします。

県では、これまでも、治水上の緊急度の高い箇所において、浚渫などを行うことにより、治水機能の保持を図ってきたところであり、引き続き、県民の安心・安全の確保のため、必要な予算を確保した上で、河川の適切な維持管理に取り組んでまいります。

(2) 独居老人等高齢者の避難について

質問
今回の台風19号の被害による死亡者の大半が避難時、又は避難する手段がなかった高齢者だと伺いました。高齢者にはSNSやインターネットなどを使用されている方が少なく、情報の入手にも限界があると思います。また、同時に独居高齢者の方も多く、避難が迅速に行えない場合も多々あります。その方々に対しての対策、取組をお伺い致します。



ネットなどを使用されている方が少なく、情報の入手にも限界があると思います。また、同時に独居高齢者の方も多く、避難が迅速に行えない場合も多々あります。その方々に対しての対策、取組をお伺い致します。

回答
平屋総務部長
災害時においては、避難を必要とする全ての方が防犯情報を的確に入手の上、適切な避難行動をとっていただくことが重要です。しかしながら、お示しのように、高齢者については、情報の入手や迅速な避難行動が困難な場合も想定されます。このため、県では、こうした方々を対象とする「要配慮者支援マニュアル策定ガイドライン」を作成し、市町に対し、地域の実情等を踏まえた具体的な対策を推進するよう要請をしてきたところです。これを受け、各市町においては、ガイドラインに沿って、地域を通じた電話や訪問による防災情報の伝達など、多様な情報伝達手段の確保に努めています。また、独居高齢者等の避難時に支援が必要な方については、支援者や避難方法等に係る個人ごとの計画の策定に取り組み、円滑な避難が実施できるよう、関係者間で情報の共有を図っています。さらに、今年度からは、県と市町が連携し、災害リスクが高い地域において、住民自らが近隣の高齢者等にも自発的に避難を呼びかけ、一緒になって避難するための体制づくりも促進しているところです。



② 安心・安全な道づくりについて

(1) 道路の維持管理について

質問
6月議会質問後、日々のパトロールの頻度、緊急性や重要性の高い箇所の判断基準、現在の所要予算等を伺いました。

日々のパトロールの頻度は二週間に一度、緊急性や重要性の高い箇所の判断基準は、先ず歩道のない通学路、そして交通量の多い路線、所要予算は県全体の予算に対し割合にして0.27%と県民の安心安全を確保するには少し寂しい気がしました。県民の命を守る車道外側線等の道路区画線の維持管理は不十分ではないかと感じます。

広い県内を担当部署の者だけでフォローすることは困難かもしれませんが、他の部署の者が県内移動する際の情報の共有を図ることでパトロールに対する予算も軽減でき、その分を維持管理に充てるのが可能だと思います。安全な通学路確保のため予算の増額を検討できないか、県のご所見をお伺い致します。

回答
森若土木建築部長
県では、日々のパトロール等による異状個所の早期発見と速やかな補修を行い、良好な状態に維持するよう努めています。お示しの道路区画線については、歩行空間を確保する役割もあり、特に、歩道のない通学路等では、優先的に取り組んでいます。また、県では、これまで幅広く情報収集を図るため、相談窓口等を設け、道路に関する意見や相談などに適切に対応しているところです。県としては、引き続き、県民の安心・安全の確保のため、必要な予算を確

保する必要があると思います。また、県では、これまで幅広く情報収集を図るため、相談窓口等を設け、道路に関する意見や相談などに適切に対応しているところです。県としては、引き続き、県民の安心・安全の確保のため、必要な予算を確保

保した上で、道路の適切な維持管理に努めてまいります。

(2) 公共インフラの維持管理について

質問

9月議会で申し上げましたが、近年の災害状況や各施設の現状等を踏まえれば、道路や河川などの公共インフラの維持管理のあり方について見直すとともに、新たな公共インフラの整備予算よりも維持管理予算へ重点配分することにより県民の安心・安全を更に保つていただきたいと思います。県のご所見をお伺い致します。

回答

村岡県知事
道路や河川等の公共土木施設は、県民生活や経済活動を支える重要な社会基盤であり、道路の整備や河川の改修はもとより、計画的かつ効率的な施設の維持管理を行うべく必要があると考えています。

このため、道路や河川の維持管理については、厳しい財政状況の中ではありますが、毎年、所要の予算を確保した上で、道路の交通安全上あるいは河川の治水・上支障のある箇所等について、施設の補修や草刈り、浚渫など重点的、計画的に実施し、良好な状態に維持するよう努めています。

私は、引き続き、事業効果や緊急性を踏まえ、真に必要な公共事業に対して、財源の集中的、効率的な配分を図り、道路や河川などの公共インフラの適切な維持管理を行うことで、県民の安心・安全の確保に取り組んでまいります。



(3) 自然を活かした観光振興について

質問

仁保川の upstream に川の水を活用したプールがあり、小さな子供でも安心して川遊びができます。今年も子供を連れて出かけましたが、県外ナンバーも多数見受けられました。

やまぐち維新プランでは重点的な施策の推進として大交流維新の中に、歴史、文化、豊かな自然、温泉などの県の魅力を活かした取組の推進とあります。山口県には数多い河川のほか、風光明媚な山や美しい瀬戸内海、日本海など素晴らしい自然がたくさんあります。SNSや情報誌で山口県の自然を発信し、興味を持ってもらい、体感してもらうことで、自然豊かな山口県で子育てしたい、住みたいとなり、人口減少に歯止めをかける手段の一つになると思います。

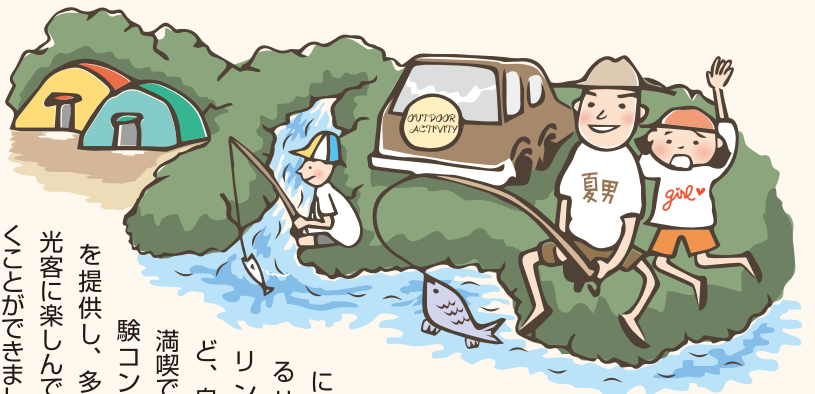
そこで、山口県の豊かな自然を活かした観光振興について、県のご所見をお伺い致します。

回答

正司観光
スポーツ文化部長

本県は、三方に開かれた美しい海や、日本最大のカルスト台地など、豊かな自然に恵まれており、県では、これまでも、こうした自然を活用した観光プロモーションに取り組んでまいりました。今年度からは、観光キャッチフレーズ「YAMAGUCHI MAGIC」のもとで、自然を楽しむ「絶景」や、自然の中の「体験」などをテーマとして、キャンペーンを展開しています。

キャンペーンにおいては、秋吉台の雄大な景観や錦川の清流など、本県ならではの絶景を上空から眺める熱気球搭乗イベントを開催し、好評を博しました。また、角島でのマリンスポーツや、県内各地で気軽



に楽しめるサイクリングなど、自然を満喫できる体験コンテンツを提供し、多くの観光客に楽しんでいただくことができました。

このように、本県の豊かな自然を活用したキャンペーンは、観光客の人气が高く、誘客にもつながることから、県としては、これからもテレビや情報誌など発信力のあるメディアを通じて、県内外へ広く情報発信していくこととしています。

質問

地元の情報交換会において、野犬等の対策について、

① 飼い主のいない、野外を彷徨する動物の増加を防止するため、所有者が管理しない動物への餌やり禁止等、必要な事項を含む条例を制定すること。
② 山口県に対して野犬の捕獲対策強化を要

請するなどの対策を講じることの陳情がありました。

9月議会で、人と動物の安心なくらしづくりについて質問をしましたが、県において、飼育放棄や無責任な餌やりに関する条例については、野犬が問題となっている地域が限られていることや、飼育放棄については、既に法規制があることなどから、県において制定することは考えていない、と答えられました。しかし、陳情・要望として声が上がっている以上、無視することはできません。

県政において、県下における野犬の現状を、関係機関を含め広い範囲で今一度精査し、県民の切なる声として条例の制定や既存の条例に追加するなど、前向きに対策をしていただけないか、改めてご所見をお伺い致します。

回答

西田環境生活部長

県では、県内の野犬による被害や苦情等の状況をしっかりと把握した上で、地元市町等と連携しながら、捕獲などの野犬対策を実施しています。

お尋ねの飼育放棄や無責任な餌やり等を規制する条例については、野犬が問題となっている地域が限られていることや、飼育放棄については、既に法規制があることなどから、県において、既存の条例の改正も含め、制定することは考えていません。





議としての参加行事

防府市はもちろん、山口県のたくさんの方々とお会いする機会をいただきました。

色々教えて頂いている山口市選出の先輩議員合志栄一議員と共にオープニングセレモニーに出席。

平和な日本のいしづえを築いてくださった方々へ感謝です。

8/1	どきどきドローンワールド
3	防府天満宮書道展表彰式
11	戦没者慰霊祭
21	全国都道府県議長会・新任議員研修会
27	防府天満宮御手廻り保存会再編40周年記念祝賀会
28	県議会文教警察委員会県外視察(宮城県・山形県)
29	県議会文教警察委員会県外視察(宮城県・山形県)
30	県議会文教警察委員会県外視察(宮城県・山形県)
9/1	公益社団法人防府青年会議所創立60周年記念式典
3	奉祝天皇陛下御即位第62回山口県神社関係者大会
6	航空教育隊第17期自衛官候補生入隊入校式 第37回防府市総合社会福祉大会
7	天皇陛下御即位山口県奉祝委員会発足式
8	奉祝 車塚妙見神社秋の大祭
13	第23回法人会山口県青年の集い下関大会
17	防府バイオマス・石炭混焼発電所工場竣工見学会
18	山口県議会9月定例議会(9月18日～10月11日)
19	防府市いきいきシルバーふれあいスポーツ大会
26	山口県議会9月定例議会一般質問
10/1	山口県議会文教警察委員会
2	山口県議会文教警察委員会
5	第57回防府市障害者体育大会
6	第17回天神まちかどフェスタ
8	航空教育隊 第14期一般空曹候補生入隊・入校式
9	山口県議会文教警察委員会県内視察
11	山口県庁九華会総会
14	第57回防府市民体育祭
16	全国防衛協会連合会青年部 第19回全国青年研修大会山口大会
17	全国防衛協会連合会青年部部隊研修
19	愛情防府フリーマーケット赤い羽根共同募金



どきどきドローンワールド



文教警察委員会県内視察・宇部総合支援学校にて



やっぱり花神子社参りの箱役です。

20	道の駅潮彩市場防府4周年祭
25	防府市戦没者追悼式
26	山口県立防府総合支援学校文化祭
11/1	公益社団法人防府青年会議所創立60周年記念式典
2	防府競輪開設70周年周防国府杯争奪戦
3	山口県立農業大学農大祭・佐波地域ふれあい祭り
4	遊々かわフェスタ
8	第33回法人会全国青年の集い大分大会
9	じばさんフェア2019・令和元年山口県警察視閲式 防府市立佐波中学校創立70周年記念式典
12	第19回都道府県議会議員研究交流大会
16	すごいぞ!防府秋の大イベント
17	第11回松崎ふれあいまつり
19	衆議院議員 城内実「明日の日本を語る会」
20	防災専門図書館訪問
21	令和元年度教育功労者表彰式
22	自治会連合会 県議会議員との情報交換会
24	防府稲荷秋季大祭
27	山口県議会11月定例議会(11月27日～12月13日) 山口県の新たな活力創出推進特別委員会
28	天皇陛下御即位奉祝山口県民大会
12/1	防府市農林水産業まつり
4	山口県議会11月定例議会一般質問
5	防府みなと振興会
8	令和元年度山口県遺族連盟青年部女性部合同研修会
9	山口県議会文教警察委員会
10	山口県議会文教警察委員会
12	第17期自衛官候補生課程卒業式
13	防府商工会議所議員総会
14	第10回お笑い講世界選手権
15	第50回防府読売マラソン
17	農事組合法人二島西視察



防府市戦没者追悼式



第19回都道府県議会議員研究交流大会



文教警察委員会

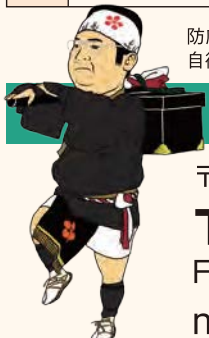


自衛官候補生課程卒業祝賀会

みっちり勉強してきました!

緊張の連続です。

がんばり!



防府天満宮の花神子参りに、お手廻り保存会「箱役」として20年以上参加。自衛隊の皆様や市内有志の方、防府青年会議所メンバーの皆様と楽しく活動しています。

松浦 多紋事務所 \ 皆さまの声を聞かせてください! /

〒747-0046 山口県防府市千日2-6-6
TEL 0835-25-2525
FAX 0835-23-7470
matsuura.tamon@gmail.com

松浦 多紋フェイスブックページ
<https://ja-jp.facebook.com/tamon.matsuura>
松浦 たもとみんなの会フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/matsuura.tamon/>



松浦多紋の山口見聞録

県政報告紙

Vol. 1

2019.9月発行



11月21日立候補表明記者会見



11月28、29日
12月2日立候補説明会



12月23日事務所開き



3月1日激励大会



3月1日激励大会



3月29日出陣式



4月2日総決起大会



4月6日選挙最終日

1971年5月14日生まれ48歳。
松崎小・佐波中・防府高・立正大文学部卒。
父・母・妻・長男・長女・次男の三世同居7人家族。
趣味は野球、スポーツ観戦です。

松浦多紋です。
よろしく
お願いいたします。

新人議員・松浦多紋、皆様のおかげでこの場所に立つ事ができました。ゴールではありません、スタートです。ふるさと防府が、山口県が子どもたちと私たち大人の笑顔であふれ、皆さまがこのまちを心から誇れるよう全身全霊努めてまいります。





責任世代として 「誇りを育む」

子ども達が笑顔になれば、大人もみんな笑顔になります。街がどんどん元気になります。笑顔を育むことで、令和の時代にふさわしい希望を育み、誇りを育みます。みんなが誇れる山口県にするため、笑顔を届けます。

5月臨時議会

5月9日～5月14日まで



議長・副議長を決める選挙です。柳居議長、藤生副議長が選任されました。

6月定例議会 6月12日～28日まで

一人会派『県民の誇りを育む会』としてスタートしました。

県民の皆様の声を県政に、国政に届ける事こそが、私が頂いた皆様からの尊い使命であり、議員として最低限の仕事だと思います。一人会派のメリットを最大限に活かし、6月の定例議会から一般質問をさせて頂きました。

選挙を通じて訴えてきました「日本の宝である子どもたちへの教育」。子どもからご年輩の方まで、誰もが使用する通学路、県道の現状を中心に組み立て、質問させて頂きました。



子育て世代の代表として。まず一番に「教育」を取り組みたいこと。

公立小中学校の教育体制①

質問

PTAの活動を通じ、勉強させて頂きました、新学習指導要領で特に授業時数の分配が気になりました。

子どもにとって集中力の持続等考慮したうえで、一日の授業時数の適正時数はどれくらいが最適なのか、県教育委員会の御所見をお示しください。

回答

繁吉副教育長

小・中学校の教育課程は、学習指導要領に示された各教科等の授業時数を標準として、各学校が、児童・生徒の心身の発達の段階や地域の実態等を十分考慮した上で編成するものとされています。

また、その編成に当たっては、適当な授業時数が児童・生徒の過重な負担とならないようにすることも学習指導要領に示されており、お尋ねの一日の授業時数については、これらを踏まえて、各学校が適切に設定するものと考えています。

公立小中学校の教育体制②

質問

教育現場の多くの課題に対しては、教員の増員や小学校における教科担任制の積極的な導入、学校業務支援員の増員も必要だと思えます。

その結果、教員の皆さんがしっかりと休みを取れ、子どもと向き合う時間が増え、子ども達の心に余裕、学力向上につながります。ゆとりを持った教育を受けることが可能になると考えます。

教員の皆さんの多忙化する業務の改善を図るため、学校における働き方改革をどのように推進されるのか、御所見をお聞かせください。

回答

繁吉副教育長

県教委では、平成30年3月に「学校支援人材の活用」などを柱とした「学校における働き方改革加速化プラン」を策定し、現在、様々な環境整備を進めているところです。

市町立学校における働き方改革については、各市町教委において取り組まれるものですが、県教委といたしましても、各市町教委に対して、教員の事務的業務の負担を軽減するため、学校業務支援員の配置について支援を行うとともに、学校閉庁日の設定など、勤務体制の改善に資する取組等について働きかけており、今後もプランに沿って、連携して取り組んでまいります。

通学路の安全対策①

質問

県警が信号機の無い危険な交差点を把握した際、その交差点が信号機の設置基準に該当しないと認められた場合には、信号機を設置する可能性はないのでしょうか。また、信号機が設置できない場合、通学路の安全確保のためどのような対策をとられるのか、お尋ねします。

回答 柴山克彦警察本部長

交通事故の発生状況や通行量、交差点の形状を踏まえ、警察庁の設置基準を満たしているか、一時停止など他の規制で代替できないかなどを総合的に判断して決めると、設置しない場合には通学路の見守りなど、必要な安全対策を個別に取っている。

いずれにしても、信号機の設置は、設置しようとする場所の交通環境に影響されますので、個別具体的な状況をよく調査、分析し、その結果を設置の指針に当てはめて、適切に判断してまいります。

通学路の安全対策②

質問

新たな信号機設置や横断歩道や標識などの維持管理を目的として、既存の信号機並びに新設の信号機にネーミングライツや広告を導入することについて見解をお聞かせください。

回答 柴山克彦警察本部長

信号機につきましては、山口県屋外広告物条例により、公共的な目的をもってなされる場合等を除いて、広告物の表示や広告物の掲出が一切禁止されております。また、信号機は警察が直接事業に使用している施設に当たりますので、現在、ネーミングライツの選定の対象外となっております。

したがって、信号機への広告やネーミングライツの導入は、今のところ難しいものと考えておるところでございます。

安心安全な道づくり①

質問

道路は、通勤・通学や日常生活での移動をはじめ、救急・消防・災害対応など、様々な場面で県民の生活を支えています。県民のくらしを支える安心で安全な道路環境の整備

を今後しっかりと進めるべきです。そのため、交通安全対策をはじめとし、緊急車両の円滑な通行の確保や災害時にも機能する道路ネットワークの整備などの取組が必要であると考えます。

そこで、県民生活を様々な側面から支える安心・安全な道づくりに向けて、どのように取り組まれるかお伺いします。

回答 村岡嗣政知事

道路は、県民生活や企業活動などを支える最も身近で基礎的な社会基盤です。厳しい財政状況の下、選択と集中の視点に立ち、重点的・計画的に道路の整備を進めているところです。

お尋ねの安心・安全な道づくりに向けた取組としては、通学路の歩道整備による交通安全対策、狭隘な道路の拡幅による緊急車両の円滑な通行の確保、道路法面の防災対策による災害時にも機能する道路ネットワークの整備などを行っているところです。

私は、引き続き、安心・安全で活力ある地域を築くために、こうした道路の整備を着実に進めてまいります。

通学路の安全対策②

質問

自動車の安全機能の認識に欠かさない車道外側線等の道路区画線が消えている箇所があります。

今後、どのように維持管理をされるのか、維持管理に向けた予算確保にどう取り組むのかお伺いします。

回答 森若峰在土木建築部長

道路の維持管理については、日々のパトロールや施設点検等による異状箇所の早期発見と速やかな補修を行い、良好な状態に維持するよう努めており、道路区画線についても、緊急性や重要性の高い箇所から順次更新しているところです。

こうした中、お示しの安全運転機能を有した自動車が普及していることに加え、区画線に頼らない自動運転システムの開発が進んでいることも踏まえ、県としては、その状況を見極めながら、引き続き、適切な維持管理を行ってまいります。

次に、道路の維持管理予算の確保についてです。県では、道路利用者の安心・安全な通行を確保し、利便性を提供するため、厳しい財政状況の中ではありますが、毎年、所要の予算の確保に努めているところです。



県議としての参加行事

防府市はもちろん、山口県のたくさんの方々と
お会いする機会をいただきました。

4/30	任期開始日(平成最後の日が始まりでした)
5/ 1	天皇陛下御即位記念写真展
7	初登庁
9	5月臨時議会開会
12	佐波地区運動会／招魂祭
14	5月臨時議会閉会
17	自治会連合会総会
19	防府海北園の親鸞聖人宗祖降誕会
25	佐波川総合水防演習
29	総合庁舎県事業説明会
6/ 1	防府南基地開庁記念観閲行進
2	防府北基地航空祭／緑花祭
10	警察庁訪問
12	6月定例議会開会
20	はじめての一般質問
24	文教警察委員会
25	文教警察委員会
26	自衛隊協力会総会
28	6月定例議会閉会／防府みなと振興会通常総会
30	山田宏参議院よい国構想講演会
7/ 4	林芳正候補・北村経夫候補出陣式
11	第16期自衛官候補生課程卒業式
14	港まつり安全祈願祭
22	一般空曹候補生課程卒業式
24	山口法律関連士業ネットワーク定期大会



緊張の初登庁です！
初心を忘れず頑張ります。

ボクもよく
「ゆるキャラ？」
って言われます。



県議として初めての公務。初登庁前
なので議員バッジはありません。



海北園のお祭りです！ぶっちー、
セルビー、ホーフーシーと。

ちよっと
【センパイぶら】
してしまっただ…



みなさん、
おつかれさま
です！

佐波川総合水防演習に！
地元、宮市分団の仲間と
出たかった。



警察庁訪問前に、議員会館で岡山県
総社市の片岡市長とバッタリ再会。総
決起大会ではお世話になりました。



商工会議所青年部の後輩たちと！

若いって
すばらしい
ですね。



防府北基地航空祭に出席。
清水市議と和田市議と。



防府南基地開庁記念観閲行進祝
賀会で、祝辞のお役目が…。



7月11日は600余名が、7月24日は400
余名が防府での候補生課程を修了さ
れ、全国各地へ飛び立たれました。お体
に気を付け、青春を謳歌してください。



大道地区の支援者の皆さんから
お声を聴かせていただきました。

上田くん、
ちよっと
やせた？



上田後援会長と法律関連士業
ネットワーク定期大会にて。



防府天満宮の花神子参りに、お手廻り保存会
「箱役」として20年以上参加。
自衛隊の皆様や市内有志の方、防府青年会議所メンバーの
皆様と楽しく活動しています。今年は10月13日に齋行されます。

松浦 多紋事務所 \皆さまの声をお聞かせください！/

〒747-0046 山口県防府市千日2-6-6
TEL0835-25-2525
FAX0835-23-7470
matsuura.tamon@gmail.com

松浦 多紋フェイスブックページ
<https://ja-jp.facebook.com/tamon.matsuura>

松浦 たもんとみんなの会フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/matsuura.tamon/>

